

水郷潮来ウォーキングコースガイド



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

初版発行：令和7年3月

水郷潮来ウォーキングコースガイド目次

コース名	順 路	頁
あやめ園～長勝寺～津軽河岸 (約2時間)	あやめ園→長勝寺→西円寺→天王河岸・ 自準亭跡碑→磯山邸→津軽河岸→あやめ園	1-1 (1)
あやめ園～愛友酒造～川辺 巡り (約2時間)	あやめ園→天王河岸・自準亭跡碑→磯山邸・津 軽河岸→仙台河岸→城米河岸→愛友酒造→硯宮 神社→二十三夜尊堂→あやめ園	2-1 (6)
稲荷山～あやめ園～長勝寺 (約2時間)	長勝寺東市営駐車場→稲荷山公園→お里塚→ まちかどギャラリー→関戸覚蔵碑→北利根川 →あやめ園→長勝寺→長勝寺東市営駐車場	3-1 (11)
県民の森～大生古墳群～ 大生神社 (約2時間)	ビジターセンター駐車場→大膳池→吊橋→ 野外活動広場→大生古墳群→大生神社→オフ 氏の墓→思井戸→ビジターセンター駐車場	4-1 (15)
二本松寺～島崎城跡 (約2時間)	二本松寺駐車場→アジサイの杜他境内→大台城 跡碑→島崎城跡登城口→御札神社→各曲輪跡→ 二本松寺駐車場	5-1 (20)
浄国寺～素鷲熊野神社～ 西円寺 (約2時間)	石の蔵駐車場→津軽河岸→浄国寺→素鷲熊野神 社→天狗党殉難者碑→恵雲寺→潮来陣屋跡→西 円寺遊女碑→自準亭跡碑→石の蔵駐車場	6-1 (24)
権現山公園～三熊野神社～ 長国寺 (約2時間)	権現山公園→富士見橋→山口花店→リンリン ロード休憩所→三熊野神社→北斎公園→長国 寺→素鷲神社→市立図書館→権現山公園	7-1 (30)
普門院地蔵堂～鹿島吉田神社 (約2時間)	延方干拓公園→地蔵河岸の常夜燈→普門院地蔵 堂→延方公民館→鹿嶋吉田神社→海道地船越地 蔵→尾崎菓子店→延方干拓公園	8-1 (35)
愛染院根本寺～白鳥の里 (約2時間)	愛染院根本寺駐車場→愛染院根本寺→亀の井ホ テル入口坂横→農道→北浦湖岸ウォーク→白鳥 の里→愛染院根本寺駐車場	9-1 (39)
北利根川沿い～水郷トンボ公 園～慈母観音 (約3時間健脚コース)	ステーションホテル後市営駐車場→水神社竹内 栖鳳碑→あめんぼ→福島万葉の碑→水郷トンボ 公園→慈母観音→旧アイモア→駐車場	10-1 (43)
観音寺～国神神社 (約2 時間30分健脚コース)	稲荷山公園西市営駐車場→稲荷山公園→浅間塚 古墳→観音寺→不動の井→国神神社→八代の 大椎→稲荷山公園西市営駐車場	11-1 (48)
慈母観音→道の駅いたこ→ 第六天神社 (約3時間健脚コース)	慈母観音・万葉歌碑・所家住宅→バスターミナ ル→道の駅いたこ→運動公園→曲松水神宮→曲 松須賀天満宮→第六天神社→慈母観音	12-1 (53)
長山城跡～日吉山王神社～金 刀比羅神社 (約2時間)	かすみの郷公園→長山城跡→稲荷神社→日吉山 王神社→金刀比羅神社→かすみの郷公園	13-1 (59)

1.あやめ園～長勝寺～津軽河岸コースガイド

あやめ園→長勝寺→西円寺→天王河岸・自準亭跡碑→

磯山邸→津軽河岸→あやめ園

集合場所：あやめ園



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

あやめ園～長勝寺コースガイド 【所要時間】約2時間

あやめ園（トイレ）→長勝寺（トイレ）→西円寺→天王河岸・自準亭跡碑→磯山邸→津軽河岸（トイレ）→あやめ園（トイレ）

1. あやめ園（トイレ）

昭和31年に前川の旧水雲橋の近く（潮来ホテル前）に町と鹿島参宮鉄道（現関東鉄道（株））により、あやめ園が開園され昭和51年からは当時の潮来町の管理となり現在に至っています。昭和34年に「水郷国定公園」として全国20番目の国定公園に指定されました。（その後筑波山等を加え昭和44年水郷筑波国定公園となりました。）現在では約1.3haの敷地に約500種、100万株の色とりどりのあやめ（花菖蒲）が咲き誇る景勝地となっています。毎年5月下旬から6月下旬にかけて開催されるあやめ祭りは、昭和27年（1952年）に始まった歴史ある祭りで、嫁入り船やろ舟での前川十二橋巡り等が人気になっています。

園内には橋幸夫の「潮来の伊太郎」と花村菊江の「潮来花嫁さん」のブロンズ像や水雲橋、思案橋、雨情橋など観光用の橋、「水郷筑波国定公園」看板、あやめ科の花の説明板などがあります。あやめ祭りの他に2月中旬から3月初旬に水郷潮来雛巡り、4月下旬に藤まつり、9月下旬～10月中旬に風の音しらべのイベントが開催され観光客を楽しませてくれます。



あやめ祭り「嫁入り船」



橋幸夫「潮来の伊太郎」像



花村菊江「潮来花嫁さん」像

↓20分

2. 思案橋、大門河岸経由

↓10分



水郷いたこ雛巡り



風の音しらべ

3. 長勝寺（トイレ）

源頼朝が文治元年（1185年）鹿島に隣接するこの地に武運長久を祈願して創建したと伝えられています。臨済宗妙心寺派に属し海雲山と号し、本尊は阿弥陀如来です。銅鐘は国の重要文化財に指定されています。仏殿、山門は禅宗様建築の特徴を示しており地方としては貴重な遺構です。境内には鹿島紀行の芭蕉句碑もあり春の桜、6月の菩提樹、秋の紅葉、2月の梅も目を楽しませてくれます。

あやめ祭り期間中方丈、庫裡に併設する書院の間で、どうだんつつじのお庭を拝見しながらお抹茶（特製和菓子付き500円）を頂くこともでき、観光客に喜ばれています。



仏殿



鐘楼



総門



山門

↓ 30分

4. 西円寺

元禄5年（1692年）創建。別名中寺（なかでら）浄土真宗大谷派に属し梅龍山西円寺と号します。境内入り口には樹齢400年と伝えられ、昭和47年に潮来市の文化財に指定された「潮来の大銀杏」があります。

大銀杏の下には平成13年5月に小林一茶の句碑「三味線で鳴（しぎ）を立たせる潮来かな」（夏目漱石墨筆、小川芋銭画）が、墓地の中には昭和54年5月に島田三郎氏により遊女の墓供養塔「衆生済度遊女の墓」が建立されています。



本堂



遊女の墓



一茶句碑

↓ 20分

1-3 (3)

5. 天王河岸・自準亭跡碑

素鷲神社が天王原から文治4年に遷座された地で、天王河岸の名前も牛頭天王の名によります。自準亭は医師で松尾芭蕉とも親交の深い本間道悦が潮来天王河岸に居を構え、「自準亭」と名付けた診療所を開設し「読み、書き、そろばん」等の教育も行いました。芭蕉は貞享4年（1687年）8月鹿島の根本寺の仏頂禅師の招きで弟子の曾良と宗波を伴い月見を行い、帰路自準亭に逗留し長勝寺にある三吟連句を読んだとされ、この時の紀行文が『鹿島紀行』として知られ、『奥の細道』の2年前のことです。

自準亭跡碑→



↓10分

6. 磯山邸

磯山邸は明治32年建築の、古き良き時代の潮来の佇まいを残した古民家です。延べ床面積約110㎡の木造平屋建てで西側には約90㎡の庭もあります。太い梁と約30cm角の檼の大黒柱と組子細工の引戸、欄間、床の間窓等が見ものです。地方創生事業として耐震強度を高め、リニューアルしてイベント会場や宿泊施設として活用しており、あやめ祭りでは嫁入り舟の花嫁さん達の控えの間、休憩所になっています。



←磯山邸

磯山邸内部→



↓10分

7. 津軽河岸（弘前藩潮来蔵屋敷西側）（トイレ）

弘前藩津軽氏蔵屋敷・河岸跡地は、現津軽河岸前川沿いの石蔵の上流側（東側）にありました。石蔵の所は津軽河岸の屋外荷捌き場で、前川に石田川が合流点より下流（西側）は、天王河岸の屋外荷捌き場です。既存の石蔵を改修し、石田川の河口に河岸を復元し、観光スポットとして活用されています。

令和4年から「あやめ祭り」のイベント「嫁入り舟」の舟乗り河岸になっています。弘前藩津軽氏の記録によれば、寛永3年（1626年）より江戸藩邸で必要とする米等の物資は、国元より回漕、やがて換金物資として米以外の木材等も回漕しました。米は藩財政逼迫により、借金の担保として大阪にも回漕されました。



←石蔵

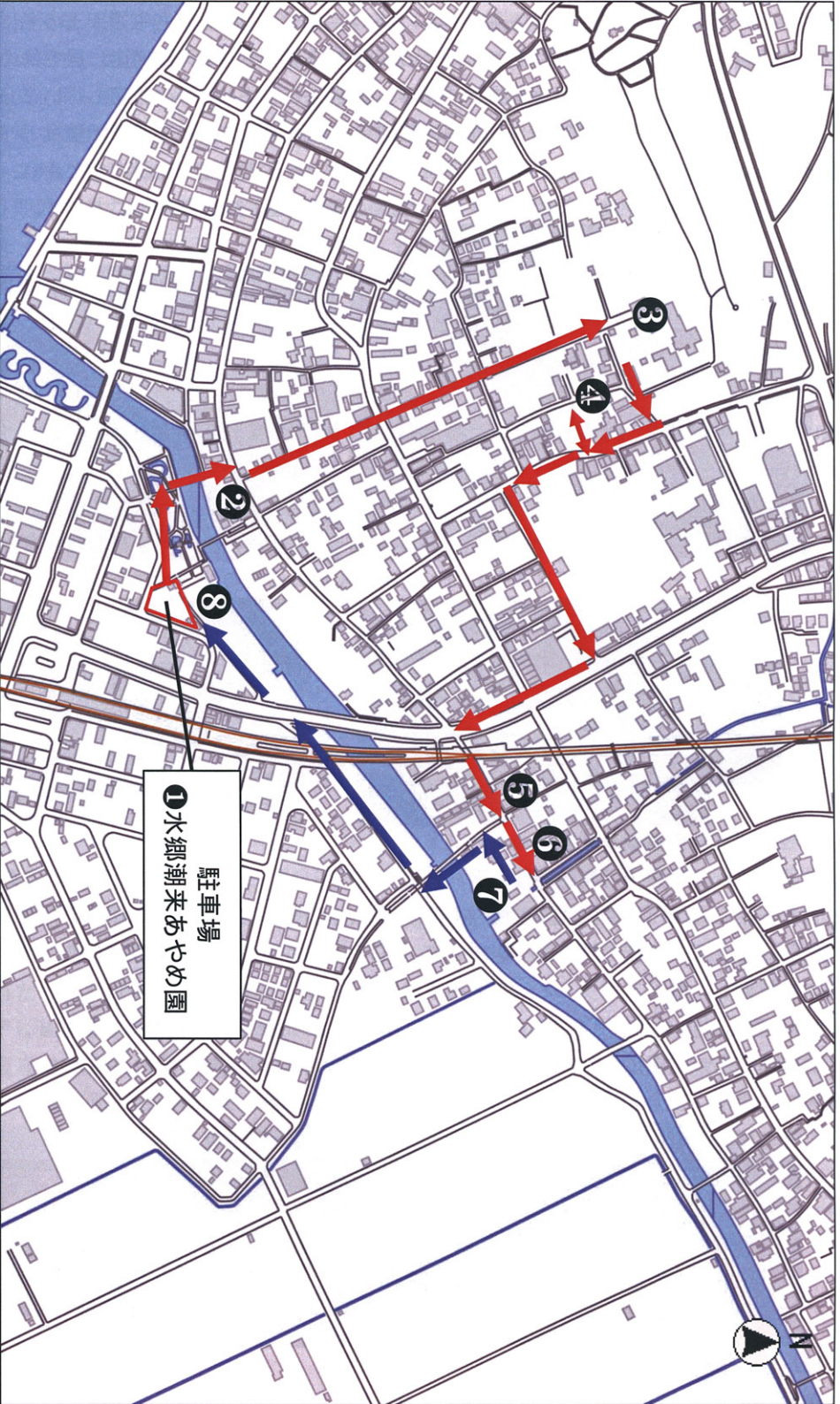
津軽河岸→



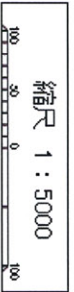
↓20分

8. あやめ園（トイレ）

1-4 (4)



1-5 (5)



2. あやめ園～愛友酒造～川辺巡りコースガイド

あやめ園→天王河岸・本間自準亭跡→磯山邸・津軽河岸→仙台河岸→
城米河岸→愛友酒造→硯宮神社→二十三夜尊堂→前川南岸道路→

あやめ園

集合場所： あやめ園



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

あやめ園～愛友酒造～川辺巡りコースガイド 【所要時間】約2時間

あやめ園（トイレ）→天王河岸・本間自準亭跡→磯山邸・津軽河岸（トイレ）→仙台河岸→城米河岸→愛友酒造（トイレ）→硯宮神社→二十三夜尊堂→前川南岸道路→あやめ園（トイレ）

1. あやめ園



↓6分

2. 天王河岸

素鷲熊野神社の南に位置し、素鷲神社が天王原から文治4年6月に遷座された地で、天王河岸の名前も素鷲神社つまり天王様の名によります。今は、潮来祇園祭時に御仮屋を建てる場所として鳥居と常夜灯などがあります。現在は天王河岸は埋め立てられています。



↓3分

3. 本間自準亭

延宝10年（1682年）に本間道悦は潮来天王河岸に居を構え、「自準亭」と名付けた診療所を開設し、困窮する村民に無料で診療を行いました。潮来に居を構えた理由の一つとして、芭蕉の禅の師ともいわれる仏頂和尚が江戸深川より鹿嶋の根本寺に移り住んだことで、本間道悦は根本寺に近い潮来を選んだと言われています。

芭蕉は貞享4年（1687年）8月、鹿島の山の月見を志し門人曾良と宗波を伴って仏頂和尚を訪ねて旅に出、その帰路本間自準を訪ね、現在長勝寺にある三吟の句を詠んだとされています。

ねぐらせよ 藁ほす宿の友すずめ （本間自準）
あきをこめたる くねの指杉 （桃青・芭蕉）
月見んと 潮ひきのぼる 舟とめて （曾良）

この時の紀行文が『鹿島紀行』として知られ、『奥の細道』の2年前のことです。



↓2分

4. 磯山邸・津軽河岸

磯山邸は明治32年に建築された日本家屋を改築した、古き良き時代の潮来の佇まいを残した古民家です。

延べ床面積約110平方メートルの木造平屋建て。間取りは10畳1間と8畳2間で、いずれも和室で、家の西側には約90平方メートルの広さの庭もあります。

建物としての特徴を挙げると、土間から内部を見上げると、太い梁（はり）と約30cm角の 檜（けやき）の大黒柱が目に入ります。さらに、3種の組子細工が施された引戸があり、東側の壁には微細な彫刻が施されている欄間を移設し



良

た窓枠があります。また、床の間の横には非常に精緻な組子細工の窓があり、この組子細工を作成するだけでもかなりの時間を要するという、往時の潮来職人の巧みな技のすごさが感じられます。

「津軽屋敷」は津軽藩の記録によれば、江戸への御膳米の輸送が開始されたのは、寛永2年(1625年)となっています。この「御膳米」とは、江戸藩邸での自家消費のためのものでしたが、やがて、江戸市場での換金用の米も運ばれるようになりました。その後元禄期までの間には「屋敷」が必要となるほど、津軽河岸を利用して津軽産の物資の輸送が増えたと言えます。

↓9分

5. 津軽河岸出発

↓5分

6. 出島橋

↓2分

7. まこも橋

・・・工事中(2022.06.30現在)

↓3分

8. 仙台河岸跡・千石橋

「茨城の民族」第5延方新莊桜涯氏の論文「汐来における仙台と津軽の蔵跡」によれば、仙台藩の潮来屋敷は慶安2年(1649年)に置かれ宝暦6年(1752年)に廃止されたとの記載があります。川筋の変化の他に、潮来で海船から川舟(高瀬舟)に積み替える利根川経由の他に、海船で直接江戸まで運送する東回り廻船の利用が主流になったことが津軽藩の潮来屋敷が廃止された理由と考えられます。

↓10分

9. 上米河岸跡・辻大橋

城米河岸は水戸藩の河岸で、城米の集積地であった。現在は住宅地になっていますが、当時は倉庫や役所、関係役人の住居が立ち並んでいたとされます。

この河岸は水戸藩が置かれたころに設置されたと考えられています。

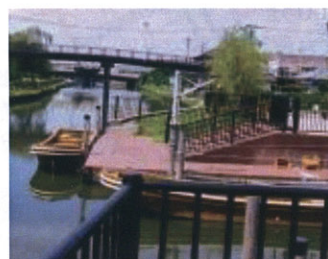
↓7分

10. 愛友酒造着

愛友酒造工場見学スタート



見学、土産物購入約40分



江戸時代から「糶友（こうとも）」の屋号で親しまれた糶屋で文化元年（1804年）の創業です。

「愛友」は友を愛し相睦み肝胆相照らすという意味が込められ、社は「四海皆兄弟」です。水は「大生神社」の湧水と同じ水脈の井戸水を使い、米は潮来産米です。

全国新酒鑑評会金賞受賞蔵で酒造見学は年中無休です。

↓40分

11. 硯宮神宮

平安時代末期の治承年間（1160～1180年）源頼朝が戦勝祈願の為、鹿島神宮（茨城県鹿嶋市：常陸国一宮）の参拝する際この地で、祈願文をしたため、その際利用した硯を当社に奉納したと伝えられています。

江戸時代に入り水戸藩2代藩主徳川光圀がこの故事を聞いた事から頼朝縁の硯を御神体として社号を硯宮神社に改めています。

現在の社殿は昭和54年（1979年）の火災で焼失後、昭和56年（1981年）に再建されたもので、拝殿は入母屋、銅板葺、平入、桁行3間、正面1間向拝付。本殿は一間社流造、銅板葺。

例祭は毎年7月下旬の土日曜日、御神輿渡御と山車が曳き廻が奉納されます。祭神は応神天皇。

↓3分

12. 二十三夜尊堂

延方郷校は、この地方の南郡奉行小宮山楓軒の尽力により設立され、元加賀藩士沢田平格の他に、久保木幡竜、宮本茶村なども教鞭をとり、儒学の他に医術、武術などを教え多くの人材を育成しました。この郷校にあった聖堂（孔子廟）は、明治12年（1879年）に移築され、二十三夜尊堂として現存しています。学問の神様孔子を祀るこの聖堂は、光圀公が招いた儒者、朱舜水が制作した模型を元に作られたといわれます。朱舜水は水戸藩に聖堂を建てることを夢見ていましたが叶わず、その模型により後世に建てられたのは、湯島聖堂と延方聖堂だけでした。湯島は震災、空襲で消失してしまいましたので、移築後修復されていますがこの聖堂だけが貴重な教育遺産として残っています。屋根には孔子廟には必ずある鬼狹頭という神獣が載っています。文政2年（1819年）落成時には8代藩主斉脩公直筆の「至聖先師孔子神位」の木碑が安置されました。

二十三夜尊堂の建物は、入母屋、銅板葺、桁行3間、梁間2間、平入、寺院建築でありながら随所に当時の郷校建築の要素が見られる独特な建物で、明治初期の御堂建築の遺構として貴重な事から、昭和49年（1974年）に茨城県指定有形文化財に指定されました。

↓10分

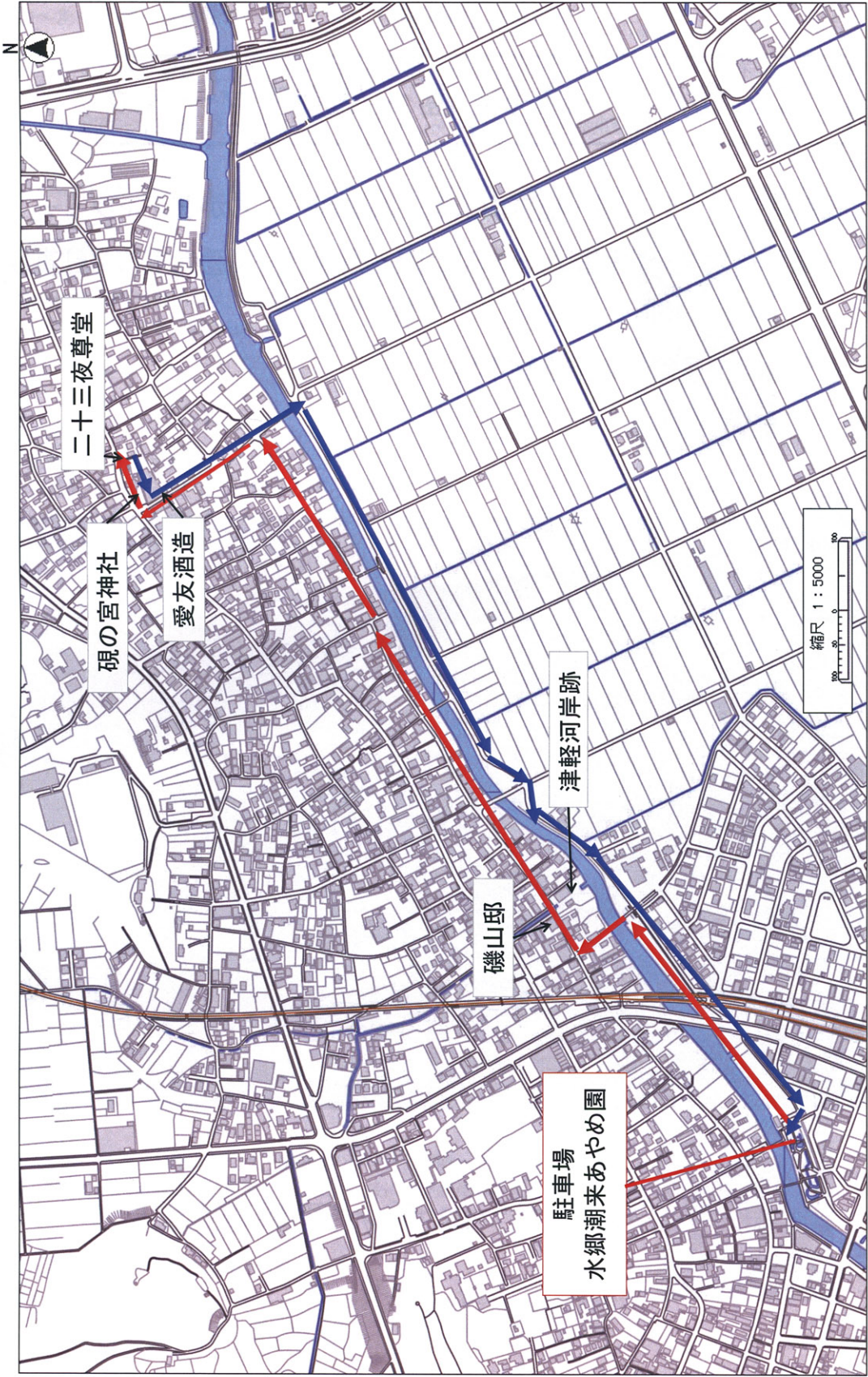
13. 辻大橋

前川南側道路を通り、桜見物をしながらあやめ園へ向かう。

↓20分

14. あやめ園着





3. 稲荷山～あやめ園～長勝寺コースガイド

長勝寺東市営駐車場→稲荷山公園→お里塚→まちかどギャラリー
→関戸覚蔵碑→北利根川→あやめ園→長勝寺→長勝寺東市営駐車場

集合場所：長勝寺東市営駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

稲荷山～あやめ園～長勝寺コースガイド 【所要時間】約2時間

長勝寺東市営駐車場（トイレ）→稲荷山公園→お里塚→まちかどギャラリー（トイレ）→

関戸覚蔵碑→北利根川→あやめ園（トイレ）→長勝寺→長勝寺東駐車場

1. 稲荷山

江戸時代の稲荷山は江戸時代末期迄、水戸藩より御朱印10石の拝領を与えられた寺領地で御朱印山と称しました。

(1) 遺愛亭跡

8号古墳付近に、水戸光圀公が潮来を訪れた時に使われた「水戸光圀公御休処遺愛亭」があります。稲荷山から美しい景色を眺めるためにたびたび訪問されたと、伝えられています。



↓10分

(2) 菊池寛実 (キキヒロミ) 碑

石炭業界で実業家として活躍する傍ら、大正15年(1926年)には東京通運(内国通運、日本通運 前身)の経営に参与し、昭和6年(1931年)に水郷の観光汽船の機軸となる水郷汽船株式会社を設立します。会社設立に合わせ大型観光船『あやめ丸』と『さつき丸』の二つの観光船を建造し、土浦と鹿島大船津間の花形航路を就航し、潮来地方の観光開発に努めました。菊池寛実氏の逝去後二年目の昭和44年(1967年)に画期的な水運事業を興して、多くを郷村の人々に遺した業績を讃え、霞ヶ浦や水郷を見渡せる稲荷山公園の一角に顕彰碑が建てられました。菊池寛実は霞ヶ浦大利根の水運開発を行い世に広め、国定公園水郷の育ての親と言われる人です。



↓5分

(3) 古墳

稲荷山公園には大生原台地から南に延びる細長い舌状台地の先端部に立地しており、3基の前方後円墳と5基の円墳があります。7世紀初頭の後期古墳と思われます。

↓5分

(4) 橋本登美三郎碑

(5) 稲荷神社

(6) 潮来築堤記念之碑

(7) 潮来町立女子技芸学校跡碑

(8) 茨城百景の碑

(9) 野口雨情の「船頭小唄碑」

(10) 展望台

↓10分

2. お里塚

島崎義幹の奥方「お里の方」は、島崎城の落城後、下総へ逃れようとしたが、佐竹の兵に追撃され、自害しました。後に人々が奥方の死を悼み、塚を築いて供養しました。現在、塚は形を失い、祠だけが残っています。

↓3分

3. まちかどギャラリー： 説明10分

↓17分



4. 関戸覚蔵碑

関戸覚蔵は、弘化元年(1844年)潮来村で生まれました。少年時代に宮本茶村先生の塾で学問に励み、青年時代は、幕末の水戸藩の党争の真っ直中を生き抜きました。その後、明治維新による近代の夜明けとともに、明治9年(1876年)潮来村戸長(現在の村長)に任命されました。また、自由民権運動に共鳴、参加し、民権結社「公益民会」を興し、国会開設の請願に当たっては茨城県委員の総代を務めました。こうした自由民権運動を背景に、明治14年には行方郡選出の県会議員に当選して活躍、明治24年には、「いはらき」新聞を創刊し、自ら初代社長に就任、同25年には衆議院議員に初当選しました。



多年の政治、言論活動で家産を傾けた先生は、晩年、政界を引退し清貧のなかで著述に専念。明治36年「東陞民権史」を刊行し、大正5年(1916年)5月9日73歳の生涯を閉じました。

↓10分 <立原佃煮店：スズメ焼き>

5. 北利根川

↓10分

6. あやめ園

昭和31年に前川の旧水雲橋の近く(潮来ホテル前)に鹿島参宮鉄道(現関東鉄道(株))により、あやめ園が開園され昭和51年からは当時の潮来町の管理となり現在に至っています。

昭和34年に「水郷国定公園」が全国20番目の国定公園として指定されました。(その後筑波山等を加え昭和44年水郷筑波国定公園となりました。)現在では約1.3haの敷地に約500種、100万株の色とりどりのあやめ(花菖蒲)が咲き誇る景勝地となっています。



↓20分
思案橋経由

7. 大門河岸

↓10分

8. 長勝寺 : 説明時間20分程度

源頼朝が文治元年(1185年)鹿島に隣接するこの地に武運長久を祈願して創建したと伝えられています。臨済宗妙心寺派に属し海雲山と号します。本尊は阿弥陀如来で、銅鐘は国の重要文化財です。

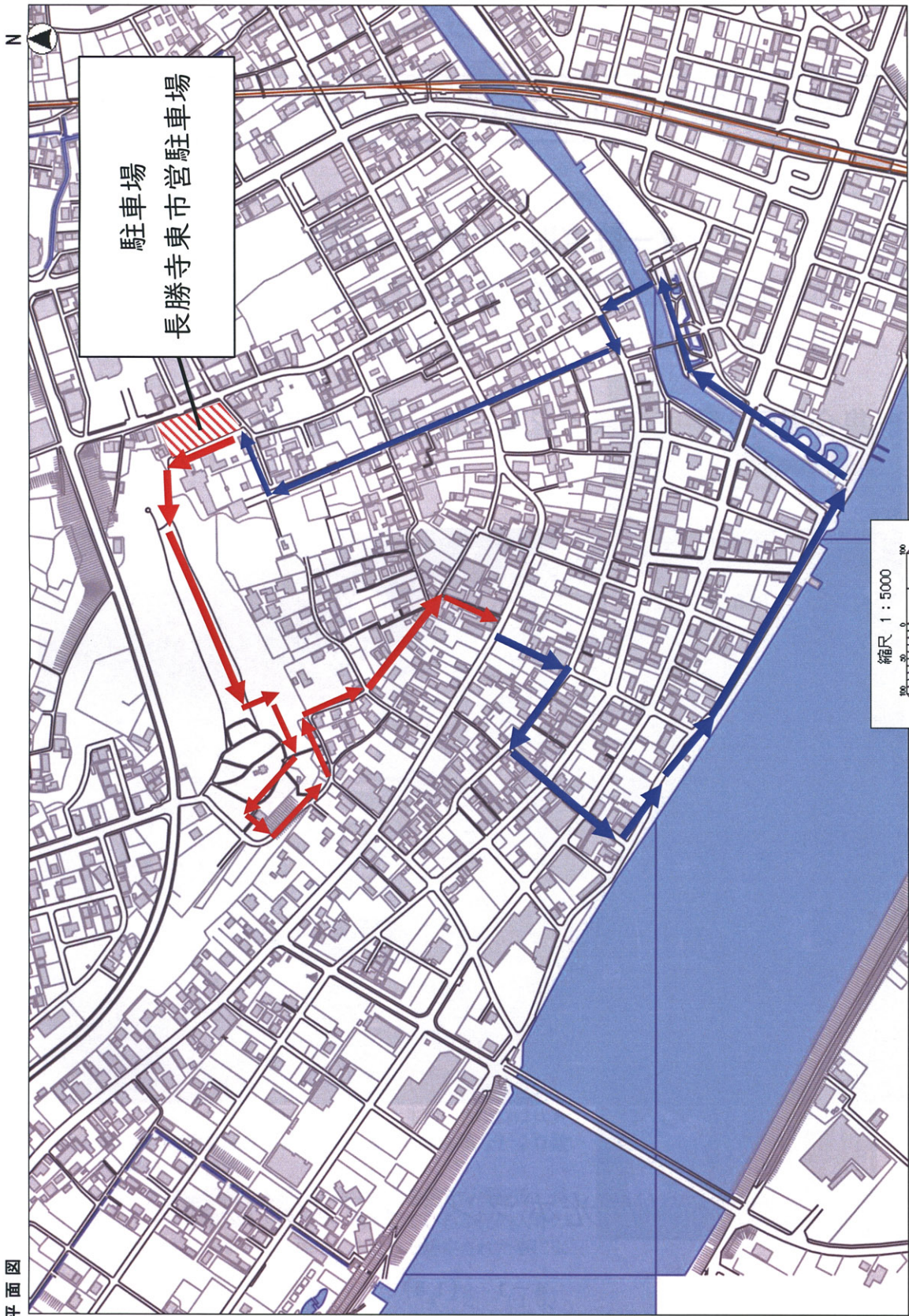
仏殿、山門は禅宗様建築の特徴を示しており地方としては貴重な遺構です。

境内には鹿島紀行の芭蕉句碑もあり春の桜、6月の菩提樹、秋の紅葉、2月の梅も目を楽しませてくれます。



↓20分

9. 長勝寺東市営駐車場



駐車場
長勝寺東市営駐車場

縮尺 1 : 5000
0 50 100
3-4 (14)

4. 県民の森～大生古墳群～大生神社コースガイド

ビジターセンター駐車場→大膳池→吊橋→野外活動広場
→体験広場→大生古墳群→大生神社→オフ氏の墓
→思井戸→ビジターセンター駐車場

集合場所：県民の森ビジターセンター駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

県民の森～大生古墳群～大生神社～思井戸コースガイド

ビジターセンター駐車場（トイレ）→大膳池→吊橋→野外活動広場（トイレ）→体験広場→
子子前（マゴマイ）塚古墳→鹿見（シカミ）塚古墳→大生の七井戸→大生神社→オフ氏の墓
→思井戸→ビジターセンター駐車場（トイレ） 約2時間コース

1. 県民の森

茨城県水郷県民の森は、平成17年(2005年)6月5日に行われた、第56回全国植樹祭の
メイン会場として開園、総面積51.5ヘクタールにおよび、コナラやクヌギの雑木林のほか、シイや
カシなどの照葉樹が見られる貴重な平地林となっています。

総合案内施設(ビジターセンター)にはパネルで自然や森林の大切な役目を伝える展示室や、研修室が
あります。又年中行事として夏場の昆虫観察や植物観察、山野草展示会、野鳥観察等、季節に応じた各
種のイベントがあります。

↓5分

(1) 大膳池

11月下旬から3月上旬まで白鳥をはじめ、カルガモ、
大鷗等、毎年多くの水鳥や渡り鳥が飛来し冬の風物詩と
なっています。



↓10分

(2) 吊橋

大膳池にかかる長さ85mの吊橋で大膳池を見下ろす
景観がとても好評です。

↓8分

(3) 野外活動広場

平成天皇、皇后 植樹お手植えの地

平成17年6月、茨城県としては二度目の第56回全国
植樹祭が開催され、天皇陛下が(ケヤキ、スダジイ、タブ)
皇后陛下が(ヤマザクラ、紅梅、ヤマボウシ)をお手植え
になりました。その時の情景を詠まれた、天皇御製の
『残りある 平地の林守らむと 潮来に集ひ 苗木植ゑ
たり』の句碑もあります。

一面芝の広大な広場には家族連れや子供達の憩いの場
であり、ステージでは不定期ながら音楽祭も開催されます。



(4) 体験広場

施設内には、大膳池や大生古墳群を有しており、これらの特徴を活かした四季折々の自然観察会や森
林管理などの体験学習ができます。又この場所は近在市内ボランティアの活動拠点となっており、毎月
土曜日を主体に草刈り、樹木剪定、吊り橋補修(塗装、防錆)等を実施しています。

↓20分

2. 子子前(マゴマイ)塚古墳

大生古墳群はオフ一族の奥津城(墓)といわれ、大生神
社を中心として大生東部古墳群、大生西部古墳群、カメ森
古墳群、田ノ森古墳群に大別されます。

このうち大生神社西側に位置する大生西部古墳群は代
表的なもので鹿見塚古墳をはじめ、子子前塚古墳など20数
基からなっています。

子子前塚古墳命名の謂れは熟年男子の頭骨が埋設後、長
期に亘って崩壊しているのに、隣接している小児の人骨の
保存状態が良いことから、孫子にあたると想定された事によ
ると記されています。



子子前塚古墳は全長71.5mで発掘調査がされており、埴輪や多くの副葬品が発見され、7世紀頃のものと推定されます。

↓2分

3. 鹿見(シカミ)塚古墳

大生神社大札祭事、鹿嶋神宮からの物忌の一団が鹿を連れて訪問するため、この古墳の上から鹿が来るのを見張っていたことから鹿見塚古墳の名が付いたと言います。

↓10分



4. 大生の七井戸

七井戸とは「思井戸」「鳴井戸」「滝井戸」「寺井戸」「姫井戸」「江里井戸」「神野井戸」で、古くから生活を支える貴重な水源であり、地域の文化や信仰の対象となっていました。大生には根小屋泥層という難透水層が分布し、湧水が多かったが畑を造成する過程でこの泥層が一部壊され、現在湧水のあるのは思井戸だけとなっています。

↓5分



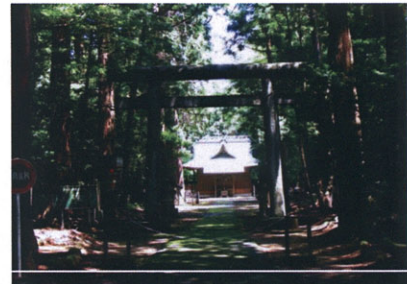
5. 大生神社

社伝では、オフ族の大和から常陸への移住の際、氏神として祀られたと言われます。健御雷之男神(たけみかづちのおがみ)を祭神とする郷社です。境内には多くの巨木が生育し、樹叢は300余種の植物が生育し、極相林の状態にあって生態学的にも貴重であり、県の天然記念物に指定されています。

本殿は安土桃山時代の天正18年(1590年)の造営で三間社流造、間口6m、奥行7mで地方社殿としては大きく当地方では最古の社殿建造物であり、拝殿と斎殿と共に県(潮来市)の文化財に指定されています。

最大の例大祭は、毎年11月第3日曜日に古式に則って祭事が行われた後、特殊神事の巫女舞神事が奉納される。巫女は氏子中の7歳から13歳の少女から選ばれる。

舞の奏楽は御神楽太鼓1、笛2、太鼓1、小鼓1、大太鼓1、小太鼓1の7人囃子に合わせて立ち上がり、幣と鈴を大きく上下しながら神前を一周し、これを五座ないし七座舞って終る簡単なものであるが、古い様式を残すものとして県の無形民俗文化財に指定されています。



↓7分

6. オフ氏の墓

大生山延命院観音寺と称し、天台宗に属し創建は大宝元年(701年)文武天皇のときで、当時この地域を支配していたオフ氏の菩提寺として建立されたのが始まりといわれています。本尊は木造観世音菩薩で平安時代後期の作と伝えられ県の指定文化財になっています。

↓3分



7. 思井戸

思井戸は、大生神社の御手洗池といわれており、その神泉は神社の祭礼などに使われて来ました。面積は75m²で鹿島神宮の御手洗池と同様の構築になっていて、池畔には龍神を祀り鳥居を奉納して神聖を保ち続けています。

現在は往古ほどの水量はありませんが、数十年前まではかなり大きく思井戸の東には流れ出る水が溜まる大きな池があり、水田などに利用されていました。



青龍宮

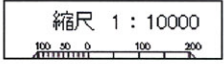
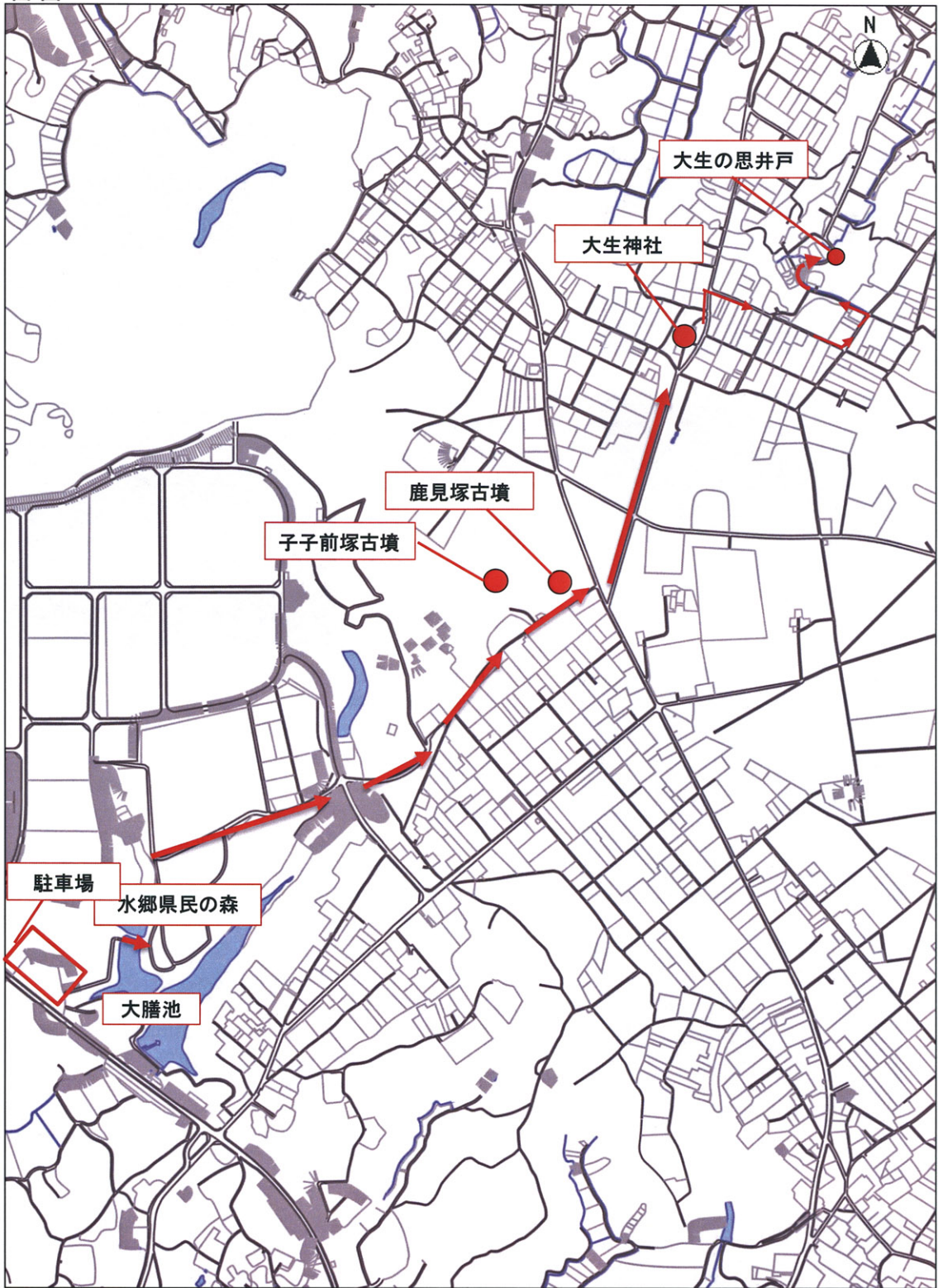
青龍宮の青龍は、古代中国で誕生したと言われる東西南北の四方の守護神の一つです。奈良県高市郡明日香村のキトラ古墳の壁画には、埋葬者を守るため、東壁には青龍西壁には白虎、南壁には朱雀、北壁には玄武といった四神（霊獣）が、それぞれ描かれています。

この青龍宮は、東方の守り神が祀られた石祠です。



↓50分（来た道を帰る）
ビジターセンター駐車場

平面図



5. 二本松寺～島崎城跡コースガイド

二本松寺駐車場→アジサイの杜他境内→大台城跡碑→
島崎城跡登城口→御札神社・各曲輪跡→二本松寺駐車場

集合場所：二本松寺駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

二本松寺～島崎城跡コースガイド【所要時間】約2時間

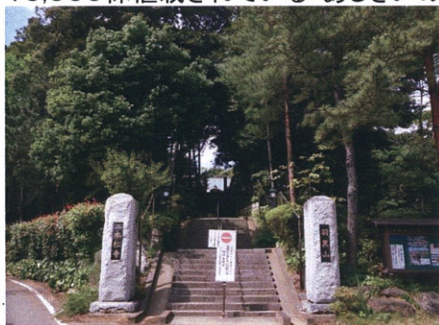
二本松寺駐車場→アジサイの杜他境内(トイレ)→大台城跡碑→田園ウオーク
→島崎城跡登城口(トイレ)→御札神社・各曲輪→島崎城表門→田園ウオーク
→二本松寺

1. 二本松寺

二本松寺は天台宗羽黒山覚城院二本松寺と号し、本尊は秘仏薬師如来です。平安時代の天長年間(824年)、慈覚大師円仁によって茂木に創建され、鎌倉時代建久2年(1191年)、島崎氏初代高幹公が京都・比叡山を模して鬼門除けとするため、現在の地に開山したと伝えられています。

書写仏堂前に天台宗の開祖伝教大師最澄が著した「山家学生式」(さんげがくしょうしき)の『一隅を照らす』の石碑や本堂脇には第18代天台座主良源、通称「元三大師」の厄除け石碑があります。

又、水戸光圀公お手植えの「榎」や、歌を詠んだ「ふたもとの松」、さらにアジサイが約100種、10,000株植栽されている「あじさいの杜」も必見です。



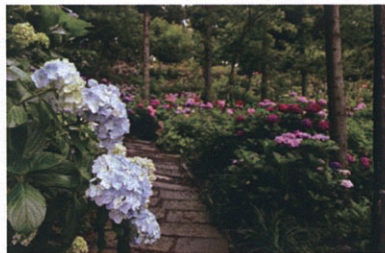
正門



書写仏堂と「一隅を照らす」石碑



あじさいの杜



あじさいの花



榎の木

↓40分

2. 大台城跡碑

堀之内大台城は佐竹義宣によって築かれた城です。島崎城に代わる新たな拠点としてこの城築きました。しかし慶長2年(1602年)に佐竹氏は秋田へ転封となったため、短期間で廃城となりました。現在城跡は牛堀中学校になっています。発掘調査で得られた資料をを基に主殿が坂東にある「逆井城址」に復元されています。



大台城予想図



大台城跡碑

↓10分

3. 田園ウオーク

↓30分

4. 島崎城跡

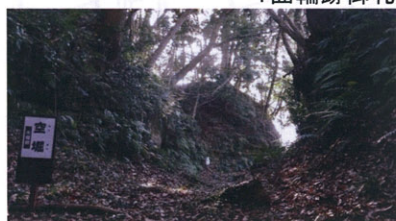
島崎城は、常陸大掾氏の庶流で鎌倉時代初期に、行方宗幹の次男高幹が島崎に分封されて島崎氏を称し、応永年間(1394~1426年)第11代成幹の時に築かれたといわれています。戦国時代になると、島崎氏は積極的な外征を行って勢力を拡張し、1584年当時には鹿島、行方両郡に割拠する国人領主で筆頭の地位を得て4万5千石を領しました。1591年佐竹義宣の常陸太田「南方三十三館の仕置き」で滅亡しました。島崎城跡は鹿行地方最大規模の中世の城跡で、いくつかの曲輪から成り立っており、曲輪、土塁、空堀、切岸など貴重な遺構です。1曲輪には第13代長国が鹿島神宮の御札を身に着け勝利した由緒の「御札神社」があります。



1曲輪跡御札神社



島崎城跡登城口



空堀



切岸



水堀

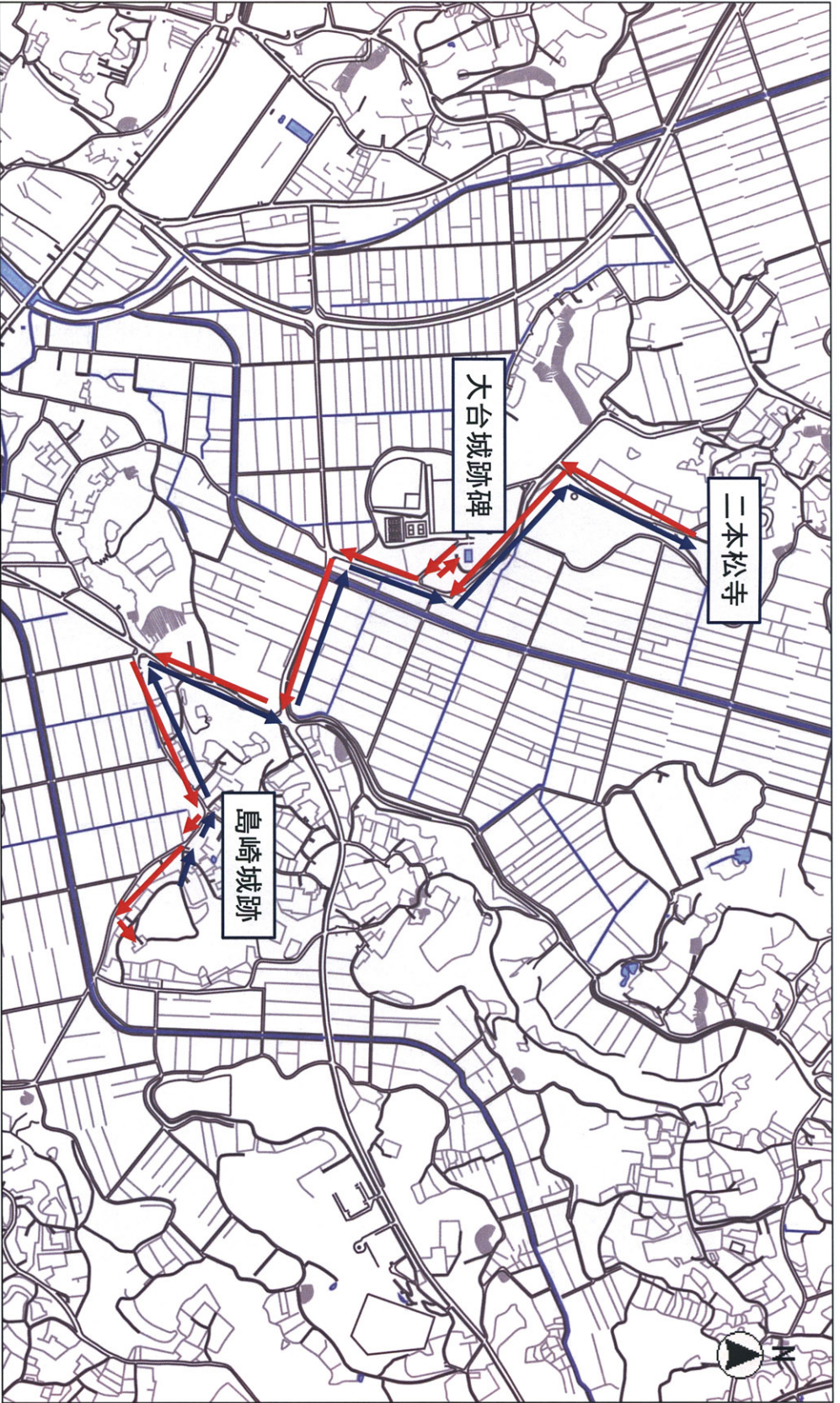


↓40分

5. 田園ウオーク

↓30分

6. 二本松寺駐車場



5-4(23)



6. 浄国寺～素鷲熊野神社～西円寺コースガイド

石の蔵駐車場→津軽河岸・磯山邸→浄国寺・宮本茶村墓→素鷲熊野神社

→潮来郷校跡碑・天狗党殉難者記念碑→恵雲寺→潮来陣屋跡→

長勝寺駐車場→西円寺遊女碑→天王河岸・自準亭跡碑→石の蔵駐車場

集合場所：石の蔵駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

浄国寺～素鷲熊野神社～西円寺コースガイド 【所要時間】約2時間

石の蔵駐車場（トイレ）→津軽河岸・磯山邸→浄国寺・宮本茶村墓→潮来の大櫓・素鷲熊野神社（トイレ）→潮来郷校跡碑・天狗党殉難者記念碑→恵雲寺→潮来陣屋跡→長勝寺駐車場（トイレ）→西円寺遊女碑→石塔寺→天王河岸・自準亭跡→石の蔵駐車場

1. 津軽河岸周辺（弘前藩潮来蔵屋敷西側）

弘前藩津軽氏蔵屋敷・河岸跡地は、現津軽河岸前川沿いの石蔵の上流側（東側）にあります。石蔵の所は津軽河岸の屋外荷捌き場で、前川に石田川が合流点より下流側（西側）は、天王河岸の屋外荷捌き場です。既存の石蔵を改修し、石田川の河口に河岸を復元し、観光スポットとして活用されています。

令和4年から「あやめ祭り」のイベント「嫁入り舟」の舟乗り河岸になっています。

弘前藩津軽氏の記録によれば、寛永3年（1626年）より江戸藩邸で必要とする米等の物資は、国元より回漕、やがて換金物資として米以外の木材等を回漕しました。米は藩財政逼迫により、借金の担保として大阪にも回漕されました。

河岸・蔵屋敷の最盛期は、元禄期（1688～1703年）迄で宝暦11年（1752年）頃潮来への廻船を終え、機能は銚子に移りました。

文献：潮来市郷土史研究会出版「ふるさと潮来35号前川の河岸」より抜粋

参考：写真の花嫁が乗舟している岸壁は、天王河岸の東端です。



←石蔵

嫁入り舟
乗り場→



2. 磯山邸

磯山邸は明治32年建築の、古き良き時代の潮来の佇まいを残した古民家です。

延べ床面積約110㎡の木造平屋建てで西側には約90㎡の庭もあります。

太い梁と約30cm角の檜の大黒柱と組子細工の引戸、欄間、床の間窓等が見ものです。

地方創生事業として耐震強度を高め、リニューアルしてイベント会場や宿泊施設として活用しており、あやめ祭りでは嫁入り舟の花嫁さん達の控えの間、休憩所になっています。



←磯山邸

磯山邸
屋内→



↓10分

6-2 (25)

3. 浄国寺・宮本茶村墓

浄国寺は文禄元年（1592年）の創建で本尊は阿弥陀如来です。聖観音像は延享元年（1744年）作にて『安産子育て観音』として、水郷観音第三番霊場にもなっています。潮来8人頭（石田、窪谷、関戸、宮本）家の墓地、「いはらき」（現「茨城新聞」）を創刊した関戸覚蔵の墓、道路西側には江戸時代の考証学者・教育者・庄屋、宮本茶村の墓があります。



←浄国寺
正門



宮本茶村
の墓→

↓10分

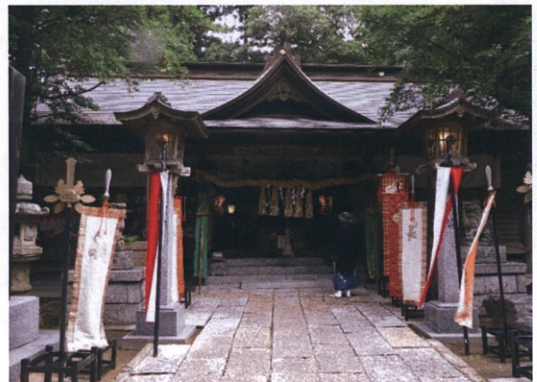
4. 潮来の大櫓・素鷲熊野神社

素鷲熊野神社は、辻の天王原に祭られていた小社を、文治4年（1188年）に潮来の天王河岸へ移し、牛頭天王と呼んだのが素鷲神社の始まりです。元禄9年（1696年）に一村一社の政策により現在地に移り、熊野三社権現と相殿になりました。

さらに天保15年（1844年）、牛頭天王は仏教色の強い呼称から神道的な素鷲神社へと社号を改め、同時に熊野三社権現も熊野神社に名前が変わりました。明治10年（1877年）に長く相殿であった両社は、素鷲熊野神社となって現在に至っています。潮来の大櫓は樹齢780年の茨城県指定文化財天然記念物で素鷲熊野神社の神木です。



←潮来の大櫓



素鷲熊野神社→

↓20分

5. 「水戸烈士殉難碑」、「筑波山拳兵 元治元年甲子ノ変 殉難百五十年記念碑」、「潮来郷校跡」碑

潮来郷校は安政4年（1857年）に南郡奉行金子孫二郎（のちに桜田門外の変の首謀者）の肝いりで建てられ、岩谷敬一郎（のちに天狗党の乱リーダーの一人）が当初館長を務めました。当時、小川・湊・潮来の郷校は「三館」と呼ばれ、尊王攘夷の激派が集結するようになり諸生派と対立しました。元治元年（1864年）には武田耕雲齋の

提言で治安鎮静を目的に潮来陣屋を設けましたが、逆に攘夷過激派の拠点と化し、天狗党騒乱では潮来郷校は陣屋ともども幕府の掃討軍により焼き討ちされてしまいました。

郷校に学んだ多くの若者たちも犠牲になり、大発勢に加わった81名、天狗党と運命を共にした61名の名が、銅板に刻まれた「筑波山拳兵 元治元年甲子ノ変 殉難百五十年記念碑」及び「水戸烈士殉難碑」、「潮来郷高跡」碑が潮来一中の坂の途中に建てられています。



潮来郷校跡碑

↓ 20分



水戸烈士殉難碑他

6. 恵雲寺

徳大山恵雲寺と号し元禄4年（1691年）創建の日蓮宗妙光寺旧末寺です。本堂裏手の奥まった所に七面堂というお堂があります。このお堂は内田山にあった延方郷校の最初に建てられた孔子聖堂とされています。現在二十三夜尊堂として使われている孔子聖堂が建てられる前にあった聖堂がこの地に移築されました。



← 恵雲寺
正門

七面堂→



↓ 10分

7. 潮来鎮台（陣屋）跡

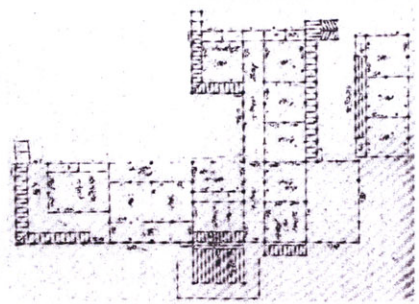
弁財天山に武田耕雲齋の提言で元治元年（1864年）2月着工しましたが、9月には幕府掃討軍により焼失しました。

（5. 項参照）

↓ 20分



潮来鎮台（陣屋）跡碑



第6図 潮来鎮台の図（国文学研究資料館蔵、徳山家文書）

8. 西円寺

梅龍山西円寺 浄土真宗大谷派 別名中寺（なかでら）元禄5年（1692年）開基。門の正面に潮来市指定文化財の樹齢400年とも伝えられる大きな銀杏の木があります。銀杏の木の横に小林一茶の句を夏目漱石が書き、句の下に小川芋銭の描いた絵が彫られた『三味線で鳴（しぎ）を立たせる潮来かな』の句碑があります。

小林一茶は文化14年（1817年）5月26日に鹿島詣での後、大船津より舟で潮来に来て俵屋に宿泊して27日に銚子に行っています。

遊女の墓には昭和54年5月に島田三郎氏建立の供養塔「衆生済度遊女之墓」があり、潮来遊郭で苦界に身を沈めた遊女女郎の歴史、由来などを伝える石碑「衆生済度遊女之碑建立の詩」碑もあります。



衆生済度遊女之墓



小林一茶句碑



西円寺本堂

↓10分

石塔時経由

9. 天王河岸・自準亭跡碑

素鷲熊野神社の南に位置し、素鷲神社が天王原から文治4年6月に遷座された地で、天王河岸の名前も牛頭天王（素鷲神社）つまり天王様の名によります。今は、潮来祇園祭時に御飯屋を建てる場所として鳥居と常夜灯などがあり、昔の面影が偲べれます。

自準亭は医師で松尾芭蕉とも親交の深い本間道悦が潮来天王河岸に居を構え、「自準亭」と名付けた診療所を開設し診療を行うとともに「読み、書き、そろばん」を中心に日常生活に必要な教育を行いました。

芭蕉は貞享4年（1687年）8月鹿島の根本寺の仏頂禅師の招きで弟子の曾良と宗波を伴い月見を行い、帰路自準亭に逗留し長勝寺にある三吟連句を読んだとされ、この時の紀行文が『鹿島紀行』として知られ、『奥の細道』の2年前のことです。

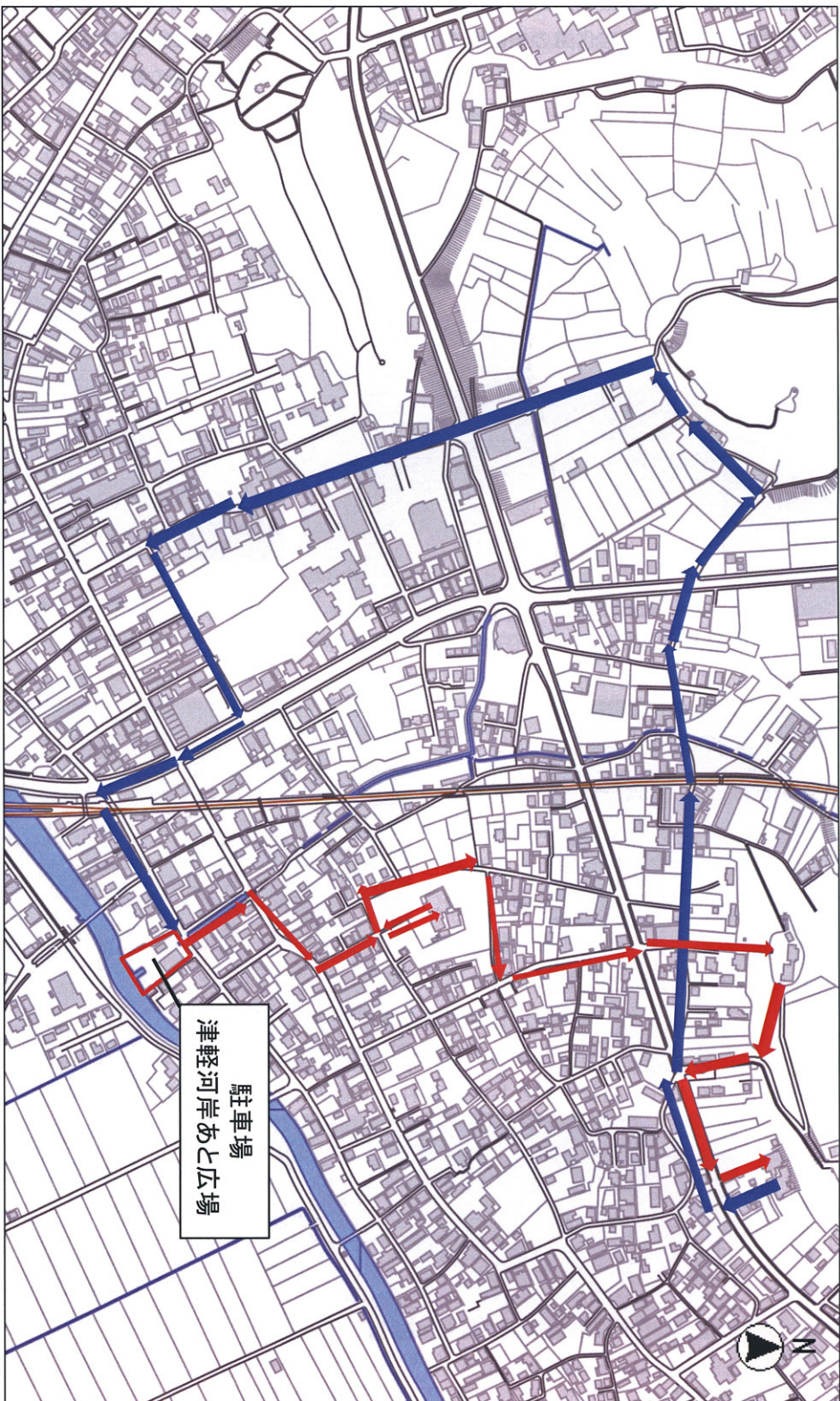


←本間自準亭跡碑

↓20分

10. 石の蔵駐車場

6-5 (28)



6-6 (29)

7.権現山公園～三熊野神社～長国寺コースガイド

権現山公園→富士見橋→島崎城御城印販売所（山口花店）→

りんりんロード休憩所→三熊野神社→北斎公園→夜越川→長国寺

→素鷲神社→夜越川→潮来市立図書館→権現山公園駐車場

集合場所：権現山公園駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

権現山公園～三熊野神社～長国寺コースガイド 【所要時間】約2時間

権現山公園駐車場（トイレ）→権現山公園→富士見橋→島崎城御城印販売所（山口花店）
→つくば霞ヶ浦りんりんロード休憩所→三熊野神社→水郷北斎公園（トイレ、千歳屋
旅館、北斎遊学館、オールアバウト蔵）→夜越川經由北利根川沿い→長国寺（トイレ）
→素鷲神社→夜越川→潮来市立図書館（トイレ）→権現山公園駐車場

1. 権現山公園

「茨城百景」にも選ばれた桜（約250本）とつつじの名所です。展望台からは北利根川沿いに広がる水郷地帯や霞ヶ浦が一望できます。冬の晴れた日には右（北）に筑波山と左（西）に富士山を見ることができ、関東の富士見百景にも選定されています。

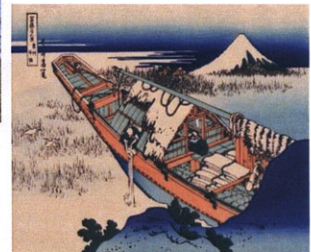
江戸時代には牛堀河岸のシンボルとして大きな黒松が舟の航行する目印「山アテ」となっていました。江戸時代後期に活躍した浮世絵師である葛飾北斎の富嶽36景「常州牛堀」はこの下の北利根川からの風景を描いたものといわれています。



権現山公園の桜



展望台とつつじ



葛飾北斎「常州牛堀」

↓20分

2. 富士見橋

国道51号線牛堀バイパス上部に架かっている高架橋で稲敷市より北利根橋を渡り潮来市に入る頭上の橋です。冬の晴れた日には橋上中心部から富士山が見られます。

↓5分

3. 島崎城御城印販売所（山口花店）、つくば霞ヶ浦りんりんロード休憩所

御城印の販売所の住所は潮来市牛堀70です。ご主人は島崎城を守る会の元会長です。りんりんロード休憩所の場所は昭和7年（1932年）竣工の旧北利根川橋が架かっていた場所で、霞ヶ浦よりの現在地に昭和46年（1971年）かけ替えられるまで、そのほとりのポプラ並木とともに水郷牛堀の玄関口として住民や観光客に親しまれていました。



御城印販売所



りんりんロード休憩所

↓10分

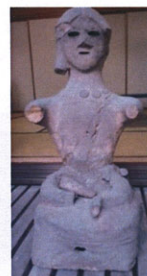
4. 三熊野神社

御祭神は事解之男命（コトワケノオノミコト）、速玉男命（ハヤタマオノミコト）、家津御子命（ケツミコノミコト）です。

三熊野神社は養老2年（718年）下総国印旛富岡の熊野神社の御分霊を東山に迎祀し、

三社大権現と尊称。その後東山日吉山王神社から天和4年（1684年）三熊野神社を当地に分祀しました。御神木は樹齢350年の雌樹「大銀杏」で目通り4.9m、樹高25m、地上5mから気根が垂れ下がり、8本の枝が伸び古木の風格があります。

5世紀後半から6世紀初頭頃の製作と推定される埴輪武人像が「青龍大権現」として三熊野神社にあります。



↓ 20分 三熊野神社鳥居から

大銀杏の木

埴輪武人像

5. 水郷北斎公園

北利根川沿いに約1km続く水郷北斎公園は水辺の公園で見晴らしの良いくつろぎポイントです。葛飾北斎が描いた「常州牛堀」にちなんで名づけられました。この公園は消波ブロック上に整備されているので、釣りの絶好の場所です。毎年夏～秋に開催される水郷潮来花火大会の会場となり、迫力ある花火が間近で見られます。

江戸時代までは物流は河川による舟輸送が主力で牛堀の津も活気がありました。明治以降近代鉄道輸送路が整備されるとともに勢いが減退していきましたが、霞ヶ浦の水運が発達し、蒸気船が通るようになると、牛堀河岸が作られ、水産業の間屋や佃煮の加工業者などで再び賑わいを取り戻しました。

昭和4年（1929年）には昭和天皇の閲兵のもと陸軍特別大演習が水戸を中心にわれ、演習後、鹿島神宮に参拝のため、土浦海軍航空隊を快速艇で出発。土木事務所（元村役場跡）の棧橋に上陸されました。その川岸に「行幸記念」と「聖趾」の石碑が建立され、後に潮来市立図書館南西側に移設されました。



↓ 15分 北斎公園・北利根橋

北斎遊学館・オールアバウト蔵

6. 夜越川（よろこし川）

大永2年（1522年）島崎氏第14代島崎忠幹が同族の永山城を攻め滅ぼしましたが、永山城の落城が日吉山王神社の祭礼中であり、酒宴の際だったので永山城を「いっぺい城」と呼び、夜陰に乗じて川を越えて襲撃したので「夜越川（よろこし川）」の名がついたといわれます。

↓ 10分

7. 長国寺

文明2年（1470年）に島崎氏13代島崎長国が創建した曹洞宗の寺院で山号を大興山と称し、墓地には島崎氏及び家臣の墓石などがあり、本尊の聖観音立像は市指定文化財になっています。

樹齢約400年のイヌマキの雄樹は市指定天然記念物になっています。

江戸時代の医師・俳人で松尾芭蕉と親交があった本間道悦（号：自準亭松江）の墓や7項記載の天狗党殉難者のリーダー前島徳之介の墓標もあります。



↓20分 本堂



本間道悦墓



前島徳之介墓標



イヌマキの木

8. 素鷲神社 御祭神：須佐之男命（スサノオノミコト）

境内社：八坂神社…昭和45年頃夜越川改修のため上戸芝宿から合祀

伊勢神社…同上夜越し側改修のため県道沿いから遷座

輪廻地藏…輪を手でくるくる廻すことで、経典の功德と御利益に授かる



←素鷲神社



境内社の八坂神社→

↓10

9. 潮来市立図書館

平成13年4月1日に潮来町と牛堀町が合併した記念事業の一つとして、旧牛堀小学校の施設を一部増築、リフォームして図書館を建設し平成18年5月27日に会館しました。親しみやすい図書館、合理的な施設、開かれた場、快適な環境、生涯学習の拠点として郷土資料室、ボランティアルームなどを設け、特に学習室は広く設けられています。

旧牛堀小学校校門から図書館駐車場に入った左側に、5項で記載の昭和4年昭和天皇「行幸記念」と「聖趾」の石碑があります。また図書館入り口左側に昭和の代表的な水彩画家で日展評議委員を務め潮来市名誉市民の小堀進画伯の生誕百年記念碑があります。

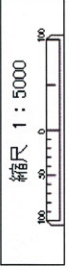
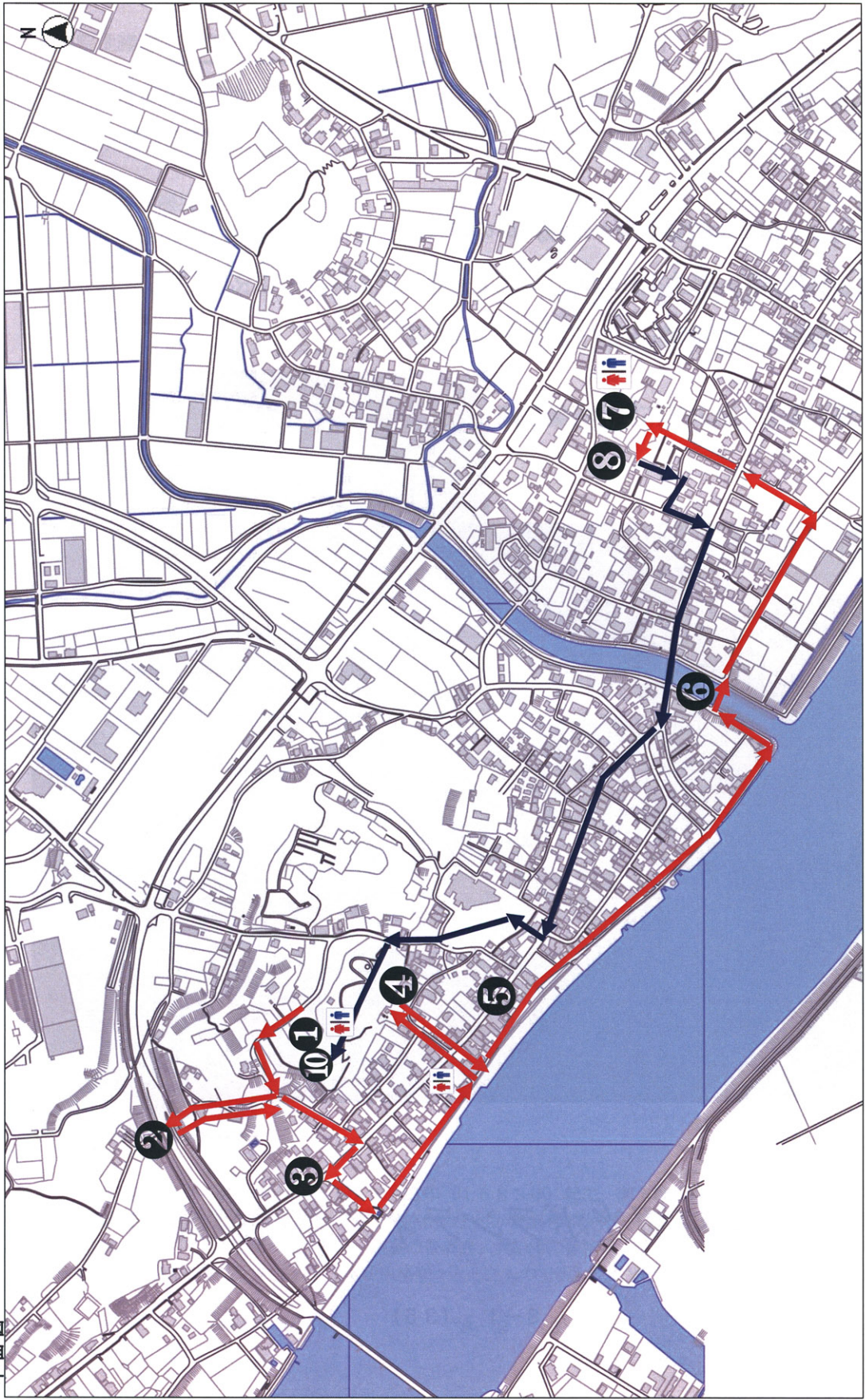


↓10分 図書館外観



図書館1F

10. 権現山公園駐車場



8. 普門院地蔵堂～鹿嶋吉田神社コースガイド

延方干拓排水機場公園→地蔵河岸の常夜燈→普門院地蔵堂→

J R延方駅→延方公民館のクスノキ→鹿嶋吉田神社→J R延方駅
→海道地船越地蔵→延方干拓排水機場公園

集合場所：延方干拓排水機場公園



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

普門院地藏堂～鹿嶋吉田神社 コースガイド 【所要時間】約2時間

延方干拓排水機場公園（トイレ）→地蔵河岸の常夜燈→普門院地藏堂→J R延方駅→延方公民館
のクスノキ（トイレ）→鹿嶋吉田神社→J R延方駅→海道地船越地蔵→尾崎菓子店→

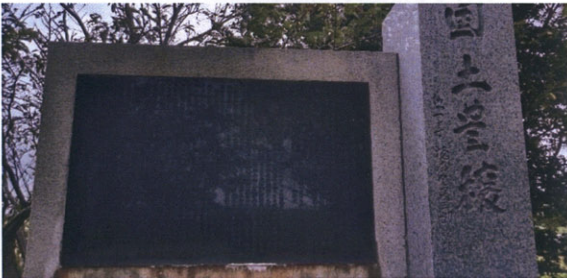
延方干拓排水機場公園（トイレ）

（1）延方干拓排水機場公園

正式名称は「潮来土地改良区事務所農林水産省排水機場」です。

延方干拓を記念する勲一等橋本登美三郎書の【国土豊穰】の石碑と延方干拓土地改良区理事長橋本義衛の【沿革】の石碑があります。又、延方干拓の歴史・経緯や写真等の掲示もあります。

例年3月に鹿行4市で行われる、100kmウルトラマラソンの潮来市メイン給水所になっています。



↓30分

（2）地蔵河岸の常夜燈（潮来市指定文化財）

造立は文政元年（1818年）で現存する市内の常夜燈では最も古いものです。

洲崎前の水路は、古来より水難事故が多く、洲崎地蔵堂は信仰の対象として崇拝されるのみならず、その灯籠は夜間航行上また、人々の生活上重要な役割を果たしました。

昭和25年頃までは、地蔵河岸は前川に面し船着き場があり、数多の物資を積んだ貨物船や高瀬舟が出入りし、賑わいを見せていたとのこと。昭和30年代後半前川の干拓事業が始まるとともに、その役目を終えこの常夜燈が地蔵河岸の名残を僅かに残しています。

又、曾尼駅屋が大生神社、延方小学校の裏山の駅屋を結ぶ「古代道」を推定すると、往古より重要な場所であったと推定されます。



↓5分

（3）普門院地藏堂（潮来市指定文化財）天和3年（1683年）起工。御本尊は船越地蔵。

地蔵河岸は水難事故が多い場所で、真言律宗僧の忍性が鹿島神の御神託を受け、建長4年（1252年）に鹿島神宮の御神木で地蔵3体を刻み、鹿島の普濟寺、大船津の普渡寺、延方洲崎の普門院に安置しました。地蔵堂の建築細部様式は、いずれも木太く風格堂々としたもので明らかに室町時代末期の特色を示しています。



↓ J R延方駅経由 25分

(4) 延方公民館のクスノキ (潮来市指定天然記念物)

↓ 10分

(5) 鹿嶋吉田神社

御祭神は鹿嶋神社が武甕槌命 (タケミカヅチノミコト)、吉田神社が日本武命 (ヤマトケルハミコト) です。かつて古高には国上神社と鹿嶋神社をひとつにした社殿がありました。それが鹿嶋神社だけ今の場所へ移され、それぞれ独立した神社になったという珍しい由緒です。鹿嶋神社は大同元年 (806年) の創建と極端に古いですが、周辺情報から考えると14世紀頃だった可能性が高そうです。吉田神社の創建年代は不詳となっていますが、元の鎮守地は諫方ヶ原 (現在延方ウエルシア) で洲崎村の産土神 (うぶすながみ) でした。



① 延方相撲

江戸時代徳島一帯では漁場をめぐる紛争や農耕地の利権論争、耕作権の問題など紛争が絶えなかったが、寛文12年(1672年)7月27日、この紛争に対して江戸幕府評定所より「この地は水戸南領に属す」という判決がありました。村人はこれを喜び合い、寛文13年(1673年)相撲祭を延方村鎮守鹿嶋吉田神社に奉納したことに始まり、江戸勸進相撲の格式をもって今日に伝えられています。



延方相撲は鹿嶋吉田神社の祭礼として開かれる行事で、300年以上の歴史を数え、県の無形民俗文化財指定されています。地元にはゆかりのある未就学児童が取り組みを行う「花相撲」で始まります。泣き出したり土俵から降りてしまったりドキドキハラハラする取り組みは必見です。その後は神社境内に築かれた土俵で「二番勝負」「一番勝負」「新手二人がかり」「小三番」「大三番」など古式の取り組み48番がとり納められます。現在は毎年7月の最終日曜日に開催されています。

↓ J R延方駅経由 25分

(6) 海道地船越地蔵 (潮来市指定文化財)

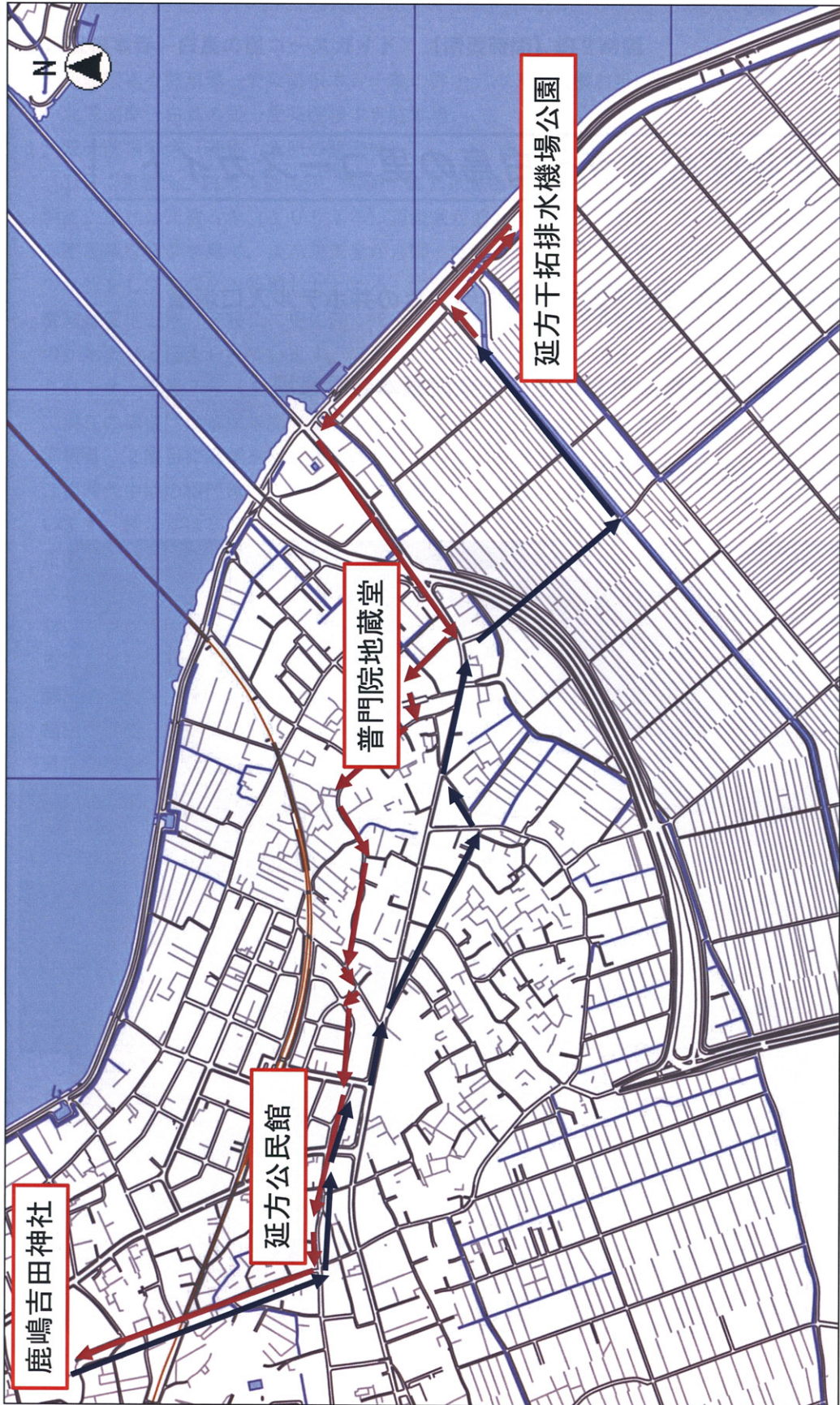
寛政4年 (1792年) 地蔵河岸沖で修行僧数人を乗せた鹿島大船津行の渡船が高波をかぶって沈没し全員死亡したため、船頭の遺族と地蔵河岸の人々が回向のため碑を建立したものとされています。

この地は追分ともいわれ、古くは小泉や古高から鹿島に出る通り道で地蔵河岸から渡船で鹿島に渡る重要な道路の分岐点であった所です。

↓ 25分

(7) 延方千拓排水機場公園





鹿嶋吉田神社

延方公民館

普門院地藏堂

延方干拓排水機場公園



縮尺 1 : 10000

9.愛染院根本寺～白鳥の里コースガイド

愛染院根本寺駐車場→愛染院根本寺→亀の井ホテル入口坂横

→農道→北浦湖岸→白鳥の里→愛染院根本寺駐車場

集合場所：愛染院駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

愛染院根本寺～白鳥の里コースガイド 【所要時間】約2時間

愛染院根本寺駐車場→愛染院根本寺→亀の井ホテル入口坂横右折→農道
→北浦湖岸→白鳥の里→愛染院根本寺駐車場

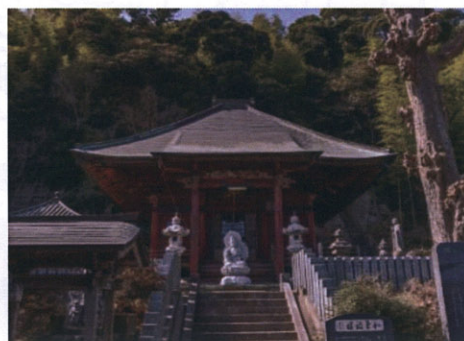
1. 愛染院根本寺（通称：水原の観音様）

山号：東雲山、院号：愛染院、宗派：真言宗豊山派、本尊：如意輪観世音菩薩、愛染明王。創建は天喜5年（1057年）源義家が前九年合戦に臨む際、この地で暴風に遭い不思議な霊夢を見て、後冷泉天皇から賜った如意輪観世音菩薩像を安置して7日7晩の水行をし武運長久を祈願したところ、満願の日に穏やかに晴れ鹿島に渡れました。義家は霊地と悟り守護仏に更に深く帰依し、草庵を建立し円通閣主を招いて開山したのが始まりと伝えられています。江戸時代に入ると麻生藩新庄氏の祈願所になり庇護されます。元禄7年（1694年）には宥範和尚により堂宇が再建されました。

現在の鐘楼門は享保年間（1716～1735年）に建てられた三軒一戸、入母屋、銅板葺、2層目に高欄を廻し外部表しになっている構造体を朱色に塗っている建物で江戸時代中期の楼門建築の遺構として貴重なことから市指定有形文化財に指定されています。観音堂は享保4年（1719年）に建てられ、三間四面、寄棟、銅板葺、正面に一間向背が付き建物全体が朱色に塗られ、細部の組物や精巧な彫刻が随所に施され、見ごたえある建物で江戸時代中期の寺院御堂建築の遺構として市指定有形文化財に指定されています。弘法大師空海が弘仁元年（810年）に彫り込んだとされる如意輪観世音菩薩像（室町時代制作、檜材、寄木造、像高59.4cm 胎内仏：藤原時代制作、一木造、像高5.9cm）と鍍金八角釣灯籠（元禄14年（1701年）福田村伊能三右衛門奉納、高さ45cm、周囲70cm、重さ3.5kg）は共に茨城県指定重要文化財に指定されています。



鐘楼門



観音堂



金堂



境内

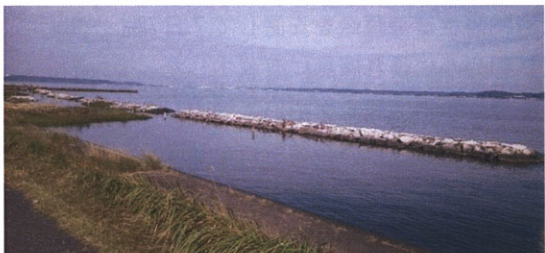
↓ 40分

2. 亀の井ホテル入口坂横右折農道

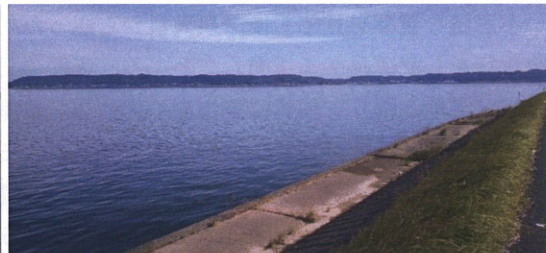
↓ 5分

3. 北浦湖岸散策

北浦湖岸沿いを左側に北浦大橋、前方対岸鹿嶋市、右側に工業地帯の煙突、湖面に跳寝る魚や泳ぐ水鳥を見ながら、ウォーキングします。



遠くに北浦大橋が見える



対岸は鹿嶋市

↓ 40分

4. 白鳥の里

北浦「白鳥の里」は白鳥や鴨やユリカモメなど水鳥との触れ合いを一年中楽しめる無料の観光スポットです。

間近で写真撮影もでき、インスタグラムなどのSNS映え抜群です。

初めて白鳥が飛来したのは昭和56年度に6羽で、逐年増加し平成25年度に130羽と初めて100羽を越し、令和2年度430羽、令和5年度600羽と数を増やしています。白鳥は日の出とともに目覚め、付近の田園、水田へ餌を求めて飛び立ちます。

その後夕方頃まで採食をし、終わると白鳥の里へ戻ってきます。そのため朝方と夕方が白鳥に会いやすい時間帯となっています。夕方20～30羽の編隊を組んで鳴きながら北浦へ帰っていく白鳥達をよく見かけますが冬の風物詩の一つでもあります。

ご家族連れでの野鳥観察やスケッチ、自然とのふれあいの場として人気です。

※北浦に飛来する白鳥の種類…コブハクチョウ、オオハクチョウ、コハクチョウ

11月下旬から3月上旬まで見られます。



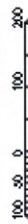
↓ 35分

(5) 愛染院根本寺駐車場

9-3 (41)



縮尺 1 : 10000



【健脚3時間コース】

10.北利根川沿いウォーク～水郷トンボ公園コースガイド

ステーションホテル後市営駐車場→水神社竹内栖鳳碑→茨城県
トリアスロン発祥の地記念碑→市立ポートセンターあめんぼ
→福島万葉の碑→水郷トンボ公園→慈母観音→旧アイモア→
JR潮来駅→ステーションホテル後市営駐車場

集合場所：潮来ステーションホテル後市営駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

北利根川沿いウォーク～水郷トンボ公園 【所要時間】約3時間健脚コース

ステーションホテル後市営駐車場（駅トイレ）→水神社竹内栖鳳碑→茨城県トライアスロン発祥の地記念碑→市立ポートセンターあめんぼ（トイレ）→西之宮大神宮→福島万葉の碑→水郷トンボ公園（トイレ）→慈母観音（トイレ）→ホームセンターナフコ→旧アイモア→J R潮来駅→ステーションホテル後市営駐車場

1. 水神社竹内栖鳳碑

竹内栖鳳は元治元年（1864年）京都生まれの日本画家。近代日本画の先駆者で戦前の京都画壇を代表する大家です。1937年、横山大観とともに第1回文化勲章受賞、帝国芸術院会員となる。昭和2年から4年にかけて潮来をたびたび訪れ、潮来に日本的な画趣を感じ作品を制作しました。水墨山水の作品を多く描き1939年75歳の時、当時の潮来町長等により栖鳳の来遊碑が北利根河畔の水神社に建立され、1950年には茨城県よりこの来遊碑が茨城百景に選定されました。栖鳳は終始官展にとどまり、在野の横山大観と画壇の双璧をなし、「西の栖鳳、東の大観」と称されました。



竹内栖鳳来遊碑



水神社

↓5分

2. 茨城県トライアスロン発祥の地石碑

潮来市は水を中心としたまちづくりをすすめており、その一環として昭和61年7月に茨城県初のトライアスロン大会を開催しました。

トライアスロンは水泳、自転車、ランニングを連続して行うスポーツです。この潮来での大会は、自然とスポーツの調和を掲げ北利根川をメイン会場にスイム1.5km、バイク40km、ラン10km計51.5kmで行われます。河畔には「茨城県トライアスロン発祥の地」の記念碑が建てられています。



茨城県トライアスロン発祥の地記念碑



スイム1.5kmの北利根川

↓15分

3. 市立ボートセンターあめんぼ

市立ボートセンターあめんぼは茨城県内で唯一ボート競技が出来る施設です。潮来ボートコースは下流約18kmに常陸川水門があり、国土交通省霞ヶ浦河川事務所により水位が管理されており水流はほぼありません。温暖な気候と四季を通じて安定した水面は競技コースとして高い評価を得ています。令和元年（2019年）開催の茨城国体ではボート、トライアスロン、オープンウォータースイミングの会場になったほか、昭和54年から「水郷潮来シティレガッタ」大会を開催しており市内外の小学生から大人まで多くの方々が参加しボート競技を楽しんでいます。

- ・1000m B級公認コース（競漕レーン13.5m×5、回漕レーン16.5m×2）
- ・2000m 計画中（競漕レーン13.5m×5、回漕レーン16.5m×2）
- ・練習水域5000m



市立ボートセンターあめんぼ

↓25分

4. 西之宮大神宮

↓35分

5. 福島万葉の碑

【常陸なる 浪逆（なさか）の海の玉藻こそ 引けば絶えすれ 何（あ）どか絶えせむ】
（巻き14-3397）

（大意）常陸の浪逆海の玉藻こそ引けば切れるが、われわれの仲はどうして切れよう。この歌碑の置かれている公園は外浪逆浦に面している景色の良い場所にあります。福島水神宮、福島ふれあいコミュニティセンターが接している公園です。



福島万葉の碑

↓10分

6. 水郷トンボ公園

潮来市福島にある公園。霞ヶ浦下流の外浪逆浦（そとなさかうら）の河川敷に位置し、水生植物や水生生物のビオトープが設置されています。アサザ池やオニバス池など5つの池が江間と呼ばれる水路で外浪逆浦とつながっています。珍しいヨシアキトンボやアキアカネなどのトンボをはじめ、さまざまな昆虫やカエル、メダカほか淡水魚、野鳥などの生物をまじかで観察できます。

※ビオトープとは

安定した生活環境を持った「動植物の生息空間」のこと。ドイツ語。ある限られた地域に元来そこにあった自然風景を復元すること。



↓ 40分

7. 慈母観音

正式名は奈良薬師寺東関東別院「水雲山潮音寺」という法相宗の寺院です。御本尊は慈母観音で薬師の本尊である薬師如来は無量寿殿に安置されています。昭和50年の開山で薬師寺管主高田好胤和上が入仏開眼を行った比較的新しいお寺で「花の寺」ともいわれています。

この地区は、東日本大震災により液状化の被害が大きく潮音寺でも16棟あった建物が4棟になってしまい、境内では修復工事が行われています。

潮音寺では8月13～16日、12月31日に万燈会が行われ、境内中央の広場に一万燈のろうそくに灯をともし、感謝と祈りを捧げます。



本堂



鐘楼



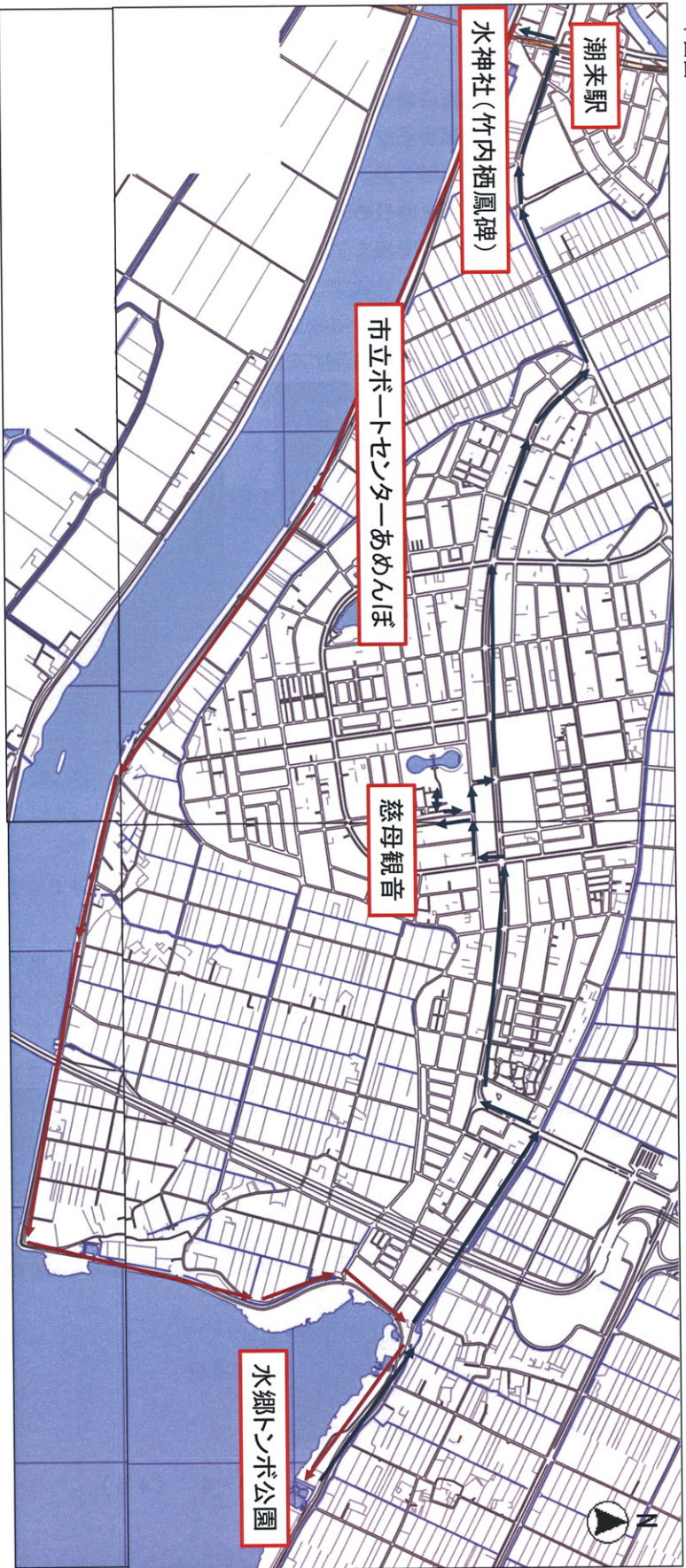
万燈会

↓ 40

8. ホームセンターナフコ→旧アイモア→JR潮来駅

↓ 10分

9. ステーションホテル後駐車場



10-5 (47)



【健脚2時間30分コース】

11. 観音寺～国神神社コースガイド

稲荷山公園→浅間塚古墳→観音寺→不動の井→

国神神社→八代の大椎→稲荷山公園西駐車場

集合場所：稲荷山公園西市営駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

観音寺～国神社コースガイド 【所要時間】約2時間30分健脚コース

(稲荷山公園と浅間塚古墳を口頭説明で通過すると約2時間)

稲荷山公園西市営駐車場(トイレ)→稲荷山公園(稲荷神社、潮来築堤記念之碑、潮来町立女子技芸学校跡碑、野口雨情歌碑、古墳、遺愛亭跡碑、展望台等)→浅間塚古墳→観音寺(トイレ)→不動の井→国神社→八代の大椎→稲荷山公園西市営駐車場(トイレ)

1. 稲荷山公園(トイレ)

江戸時代の稲荷山は、水戸藩より御朱印10石を拝領の際与えられた長勝寺の寺領地で御朱印山と称しました。標高20mの小高い丘陵地にあり潮来の風致林とも、又航行の目印にもなっていました。山の一角には2代水戸藩主光圀公がお成りの際にお茶を楽しまれた「遺愛亭」跡の標識があります。

明治39年頃、町立女子技芸学校が設立され、昭和13年学校が移転し稲荷山公園になりました。公園内には宝暦13年(1768年)京都伏見稲荷の分霊をお迎えした「稲荷神社」や当地出身の政治家、橋本登美三郎氏の顕彰碑があります。又、野口雨情の「船頭小唄」歌碑、水郷汽船(株)社長の「菊池寛実顕彰碑」、「潮来築堤記念之碑」、「潮来町立女子技芸学校跡碑」もあります。

稲荷山公園には3基の前方後円墳と5期の円墳があります。7世紀初頭の後期古墳と思われる。最近アジサイが広範囲に植栽されA, B, Cの3ルートで楽しめます。



↓20分 稲荷神社



野口雨情「船頭小唄」歌碑

2. 浅間塚古墳

常陸利根川を望む台地縁辺にある墳丘全長84m、後円部径48m、高さ7.5m、前方部幅25m、高さ4.5mの前方後円墳です。墳丘の北東側に幅10mの周溝がありますが、西側は国道51号線のため一部削平されています。埴輪等は確認されていませんが、前期古墳の墳形を良く示しており、4世紀末から5世紀初めの築造と推定され、霞ヶ浦、北浦周辺部で最古の前方後円墳です。前方後円墳の後円部の頂部に地元で「浅間様」と呼ばれる、浅間古墳神社が祀られています。



↓20分 全景



11-2(49) 浅間古墳神社

3. 観音寺

宗派：真言宗豊山派 山号：瑠璃光山 本尊：聖観世音菩薩

観音寺の創建は大同2年（807年）徳一大師が開山したのが始まりと伝えられています。当初は尾の詰にありましたが観応2年（1351年）に藤原国安により現在地に移され、鰐口と寺領5石を寄進しています。鰐口は青銅製、直径29cm、最大厚9cm「上福寺願主内蔵国安観応三年五月十八日」の銘があり、製作年と寄進者が明確で意匠的にも優れていることから昭和33年（1958年）に県指定重要文化財になっています。薬師堂は弘治3年（1557年）に建てられ寄棟、茅葺、平入、外壁は真壁造り、素木板張、三間四面（一辺約5.5m）、室内には柱がなく屋根垂木は全て梁により支えられ天井は格天井で中央には狩野元信の筆と伝えられる龍が描かれ、室町時代の御堂建築の遺構として貴重なことから昭和44年（1969年）に県指定有形文化財になっています。又、観音寺には小野小町伝説が残っていて、平安時代、眼病を患った小町が百日間参籠を続け快癒を祈願したところ見事全快し、枝垂桜（現在は3代目・別称：小町桜）を寄進したそうです。元観音寺があった尾の詰も小野住（小野小町が住んでいた場所）が由来とも言われています。観音寺境内正面の山門は寛政年間（1789～1802年）に建てられたもので茅葺、妻入り、切妻、四脚門、江戸時代の茅葺山門建築の遺構として貴重なことから市指定有形文化財になっています。



↓ 30分 本堂



薬師堂

4. 不動の井 市指定文化財：不動の井洞穴、不動明王像

説明看板内容

洞穴の井は、高さ約5m余りの台地の底部が横穴状にくり抜かれて、間口1.5m奥行約3mの洞穴状で、湧き出る清水は下に流れて1辺1.8mの御手洗となっている。洞穴の中には寛保元年（1741年）10月銘で浮彫りの不動明王石碑が祀られ、入口には安永6年（1777年）銘の石碑が建っている。洞穴上部の台地は島崎城家老大平内膳の屋敷跡とされ、また、縄文時代の遺跡などがあり井は古い時代より使用されていたものと思われる。近くの集会所には石井七郎次寄進の金仏不動明王像が祀られている。



← 不動の井

管理所→



↓ 35分

11-3 (50)

5. 国神社 別名「国神明神」とも呼ばれる

祭神：大己貴命（おおむなちのみこと）、少彦名命（すくなひこなのみこと）

社宝：雌獅子、中獅子、雄獅子

国神社は嘉歴元年（1326年）大洗磯前神社のお分霊をお迎えし鎮齋、獅子舞は応永2年（1395年）氏子が雄獅子、雌獅子、中獅子の三体を寄進したことから始まり、笛、太鼓、舞手、天狗、おかめ、ひょっとこから組み立てられ奉納されています。子舞保存会が代々地区の嫡男によって運営され、この伝承が継承されています。

この獅子舞は県内では猿島郡境町、久慈郡大子町にだけ伝わる貴重なものです。

舞は巫女舞を最初にし、天狗の道割、芝寄せから雌獅子、中獅子、雄獅子の舞、最後に激しく乱舞し、ひょっとこおかめの掛け合いという順で終わります。

元禄3年（1690年）に水戸光圀公が旧暦卯の日に奉納することと定めたといわれ、毎年11月23日に五穀豊穰を願って奉納されます。



国神社本殿



獅子舞

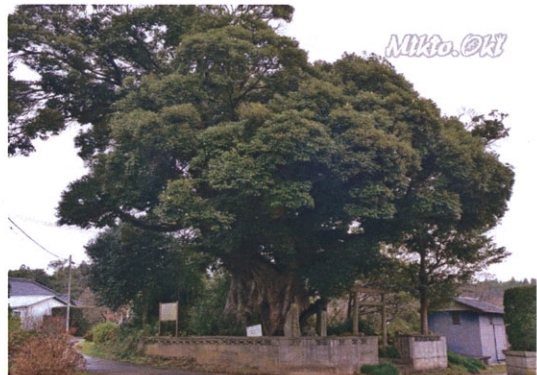
↓ 15分

6. 八代の大椎 樹種：スダジイ 推定樹齢900年

幹回り：10m 樹高：15m

台風等の被害により以前の樹形を失いましたが以前は樹高30m、幹回り10mもあり、県内でも最大級を誇る大椎でした。現在は高さ15mで幹が空洞となり枝も二つに分かれています。

台上戸神明神社の御神木で県指定天然記念物になっています。



↓ 30分

7. 稻荷山公園西市営駐車場（トイレ）



縮尺 1 : 10000

【健脚3時間コース】

12. 慈母観音～道の駅いたこ～第六天神社コースガイド

慈母観音・万葉歌碑・旧所家住宅→水郷潮来バスターミナル→
道の駅いたこ→前川運動公園→曲松水神社→ベイシア→
曲松須賀天満宮→天王原古墳→第六天神社→慈母観音駐車場

集合場所：慈母観音駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

慈母観音～道の駅いたこ～第六天神社コースガイド 【所要時間】約3時間健脚コース

慈母観音駐車場→慈母観音（トイレ）・万葉歌碑・旧所家住宅→水郷潮来バスターミナル
→道の駅いたこ（トイレ）→前川運動公園（サッカー場、市民プール他）→曲松水神宮→
ペイシア（トイレ）→曲松須賀天満宮→天王原古墳→第六天神社→慈母観音駐車場

1. 慈母観音・万葉歌碑・所家住宅

(1) 慈母観音

鹿島開発によって干拓事業が行われ「日の出」というニュータウンが誕生しました。その中心に母なる運動の拠点として昭和50年6月に慈母観音菩薩が造られ、当時の奈良薬師寺管主高田好胤和上の手によって入仏開眼された比較的新しいお寺で『花の寺』ともいわれています。正式名は奈良薬師寺東関東別院「水雲山潮音寺」という法相宗の寺院です。ご本尊は慈母観音、また薬師の本尊である薬師如来は無量寿殿に安置しています。「水雲山潮音寺」は檀家のいない、葬儀はしない、墓地も持たない薬師寺の伝統を守っています。この地区は東日本大震災により液状化の被害が大きく、潮音寺でも16棟あった建物が4棟になってしまい境内では今も修復工事が行われています。

境内では親の恩を説いた「父母御重経」の御写経や仏様のなぞり書き「写仏」などができるほか先祖供養、水子供養や病氣平癒の御祈願などが受けられます。

8月13～16日、12月31日に万燈会が行われ境内中央広場で一万燈のろうそくに灯をともし、感謝と祈りを捧げます。



鐘楼と本堂



御本尊



万燈会

↓20分

(2) 万葉歌碑

万葉歌碑は慈母観音本堂の裏にある広い庭園の池のほとりにあります。本堂の裏側に廻っていくと池があり、浪逆橋を渡るとすぐ左側に歌碑があります。

「常陸（ひたち）なる浪逆（なさか）の海の
玉藻（たまも）こそ引けば絶（た）えすれ
何（あ）どか絶えせむ」（巻14-3397）

（大意）常陸の浪逆海の玉藻こそ引けば切れるが、われわれの仲はどうしてきれよう。

（作者）未詳。常陸の国の歌



↓5分

12-2 (54)

(3) 旧所家住宅

旧所家住宅は東茨城郡桂村に所在した住宅でしたが、たまたま住宅新築のために解体されたのを機会に当地に移築したものです。所家は江戸時代中期頃村役などを務めた旧家で、この建物も形式手法から見て18世紀中頃の遺構と考えられます。

建物は曲屋状の平面を持つ住宅で、全国的にも珍しいといわれている居住部（広間、座敷、納戸）と土間部を別棟とした分棟型民家の一例として注目されるものです。座敷及び納戸部に矩折（かねおり）の縁を設けたり、土間の正面側に中二階を設け外観を兜屋根とするなどの特徴を持ち、この時代の村役階級の農家としての型式手法を良く保持し、その生活様式による構造的空間への意匠を興味深く残しています。

昭和45年（1970年）に茨城県指定有形文化財に指定され、昭和47年（1972年）に現在地に移築されました。

※吉田松陰が東北遊学の折、宿泊した家で
潮来では宮本茶村宅にも宿泊しています。



↓ 5分

2. 水郷いたこバスターミナル

2002年に設置され、東京方面への乗客が多く利用します。

現在は5路線の高速バス（東京駅、成田空港、羽田空港等）と2路線の路線バスが乗り入れしています。特に東京駅発着の「かしま号」は1時間に約3本（時間帯により変動あり）運行されています。

平成29年度から再整備が進められ、令和4年に完了しました。新待合所は従来の約2倍の床面積でリニューアルされ、新たに売店や授乳室等が設置されました。

駐車台数：整備前242台（平成29年度）

↓30分 →395台（令和4年度）に増加



3. 道の駅いたこ

平成14年4月にオープンした道の駅です。東関東自動車道の潮来I・Cの近くです。新鮮な朝取り野菜や、虹工房特製のどら焼き「虹どら」、潮来のキャラクターグッズ等様々な商品が並んでいます。グランドゴルフも楽しめ、イベントも開催される子供から大人まで楽しめるスポットです。

施設には、「情報棟」をはじめ、地元野菜の新鮮市場「伊太郎」や特産品が買える

「うるおい館」、トッピングサービスの

レストラン「おふくろ亭」等があります。

↓20分

12-3 (55)



4. 水郷いたこソーラー

東京ドーム3.8個分の広大な面積を有する水郷潮来ソーラー発電所。その設備容量は15.3MW年間では1470万KWHの電力を発電することが可能です。

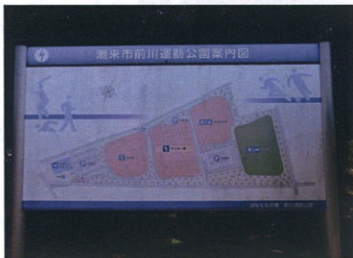
これは一般家庭4,000世帯分の消費電力に当たります。

潮来市や「道の駅いたこ」との協力体制のもと事業を推進しています。道の駅いたこには「展望台」「発電モニター」「施設概要パネル」を設置。水郷潮来ソーラー発電所について、様々な情報を知ることができます。



5. 前川運動公園

前川運動公園には多目的広場、サッカー場、野球場、プール等があり市民の健康づくりの場となっています。多くの人が活用できる設備です。



運動公園施設看板

↓25分



サッカー場



野球場



プール

6. 曲松水神社

御祭神：美都波女命（みつはめのみこと）

伝承によれば、曲松の川岸は鱈川と浪逆浦の出入り口にあたり、扇状のため風向きによって急に波が荒れ恐れられていました。そこで村人達は松の根元に水神社を祭り、松を御神体として水上の安全を祈願しました。社には明和元年（1764年）の銘があります。

烏帽子かけ松の由来

文治元年（1185年）源頼朝公は平氏追討の戦勝祈願のため、鹿島神宮参詣の時、板来（潮来）から鹿島へ向かう途中、河岸に枝や幹を横、斜め、四方に延ばしている見事な松が川辺まで伸びているのを見て川岸に立ち寄り、烏帽子を脱いで松にかけ、腰を下ろして休憩したと伝えられています。現代の松は3代目と伝えられています。曲松の名はこれに起因しています。



↓15分 ベイシア（トイレ）経由

12-4 (56)

7. 曲松須賀天満宮

菅原道真を祀る神社で、学問の神として地域の人々に信仰されています。



孝子石田寅松の顕彰碑もあります。



↓ 15分

8. 天王原古墳

全長約35m、高さ約3m
で前方部を南南東に向けた前方
後円墳とされています。
かつて墳丘の東側部分を削平
した際に二神二獣鏡が出土し
た古墳として知られています。



↓ 20分 前川橋経由



←前川橋からの前川

9. 大六天神社

千葉県香取郡山田町山倉の山倉大六天神社より分祀されたものと思われ、小泉地区の氏神として祀られていましたが途中鹿島吉田神社の境内に移し、数年後に現在地に移され、昭和46年潮来有料道路新設に伴い移転新築されました。

創建は定かではありませんが、天保5年（1834年）に再造営された棟札があります。大六天神社の拝殿の右側に水神社があります。寛文3年の創立と推定されています。

大六天は仏教でいう仏道を妨げる魔王で欲界を支配している最強の魔王です。

他化（たけ）自在天ともいわれ、人の快楽を自由に自分の快楽にしてしまう力を持つといわれています。織田信長が大六天魔王を自称したともいわれています。

松尾芭蕉句碑

「かりかけし田面の鶴やさとの秋」の句碑（明治9年建之）…鹿島紀行の中にある句大意…稲を刈りかけた田んぼで鶴が餌をついばんでいる。

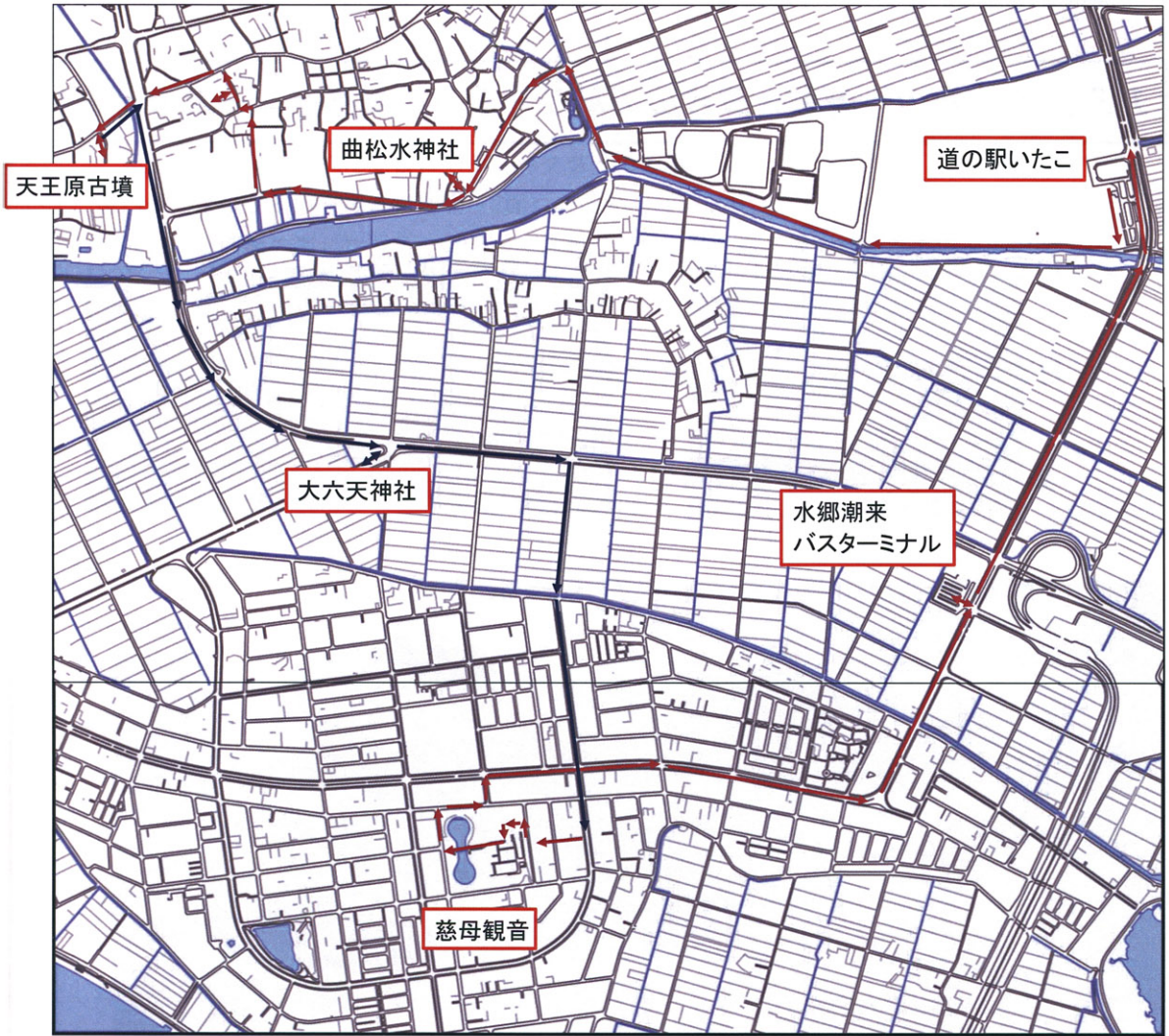


↓ 25分

芭蕉句碑

10. 慈母観音駐車場

12-5 (57)



13.長山（永山）城跡～日吉山王神社～金刀比羅神社コースガイド

かすみの郷公園→長山（永山）城跡→淡島大明神→

日吉山王神社→金刀比羅神社→かすみの郷公園

集合：かすみの郷公園駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

長山（永山）城跡～日吉山王神社～金刀比羅神社コースガイド 【所要時間】約2時間

かすみの郷公園駐車場（トイレ）→かすみの郷公園→長山（永山）城跡→淡島大明神→日吉山王神社→金刀比羅神社→かすみの郷公園駐車場（トイレ）

(1) かすみの郷公園

周辺を田園に囲まれた高台に約10ヘクタールの森が広がっています。

園内は芝生のサッカー場と野球場（2面）のほか、「レクリエーションの森」や「体験の森」、「収穫の森」など7つのテーマにわかれており、遊歩道で結ばれています。



入口石碑



グラウンド

↓15分

(2) 長山（永山）城跡

長山城は、行方忠幹六世の孫で小高幹平の次子知幹が、現在の永山の地を領し築城したことに始まります。鎌倉時代の後期で知幹が長山氏の祖となりました。

10代幹綱の時、大永2年（1522年）に隣接する島崎利幹によって攻められ落城するまで二百数十年続きました。

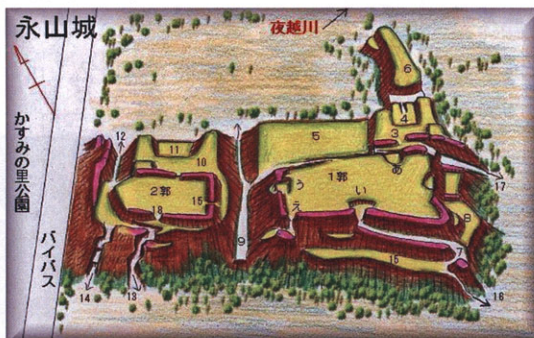
本丸跡・二の丸跡・土塁跡・濠跡・櫓形跡等の遺構が見事に残され、令和4年に潮来市指定文化財になりました。東西約180m、南北約50m（本丸、二の丸）の小さな城に大型の城並みの諸施設を取り入れた中世城館遺構として貴重な存在です。

現在も城跡の周辺には城山、根古屋、門前、寺台、弓内、浜弓場等の関係地名を多く残すとともに落城等に際しての言い伝えも語り継がれています。

（広報いたこvol. 263 2023年2月号より）



石碑と碑文



長山城跡絵図

↓35分

(3) 淡島大明神

↓5分

13-2 (60)

(4) 日吉山王神社

祭神：大山咋命（おおやまくいのみこと）

創建年代は不祥ですが、和銅6年（713年）に編纂された『常陸風土記』に「香澄の里あり東の山に社あり」と記されているのが永山の日吉山王神社です。

鎌倉時代中期桓武平氏の流れをくむ長山知幹が永山（長山）に築城するにあたり、牛堀北西部境より現在の地に移転され、その後長山城主が10代氏神として尊崇した神社とされています。以前は「日吉」「山王」「三熊」三社の神社が相殿であり、大山守の須田氏が牛堀に移転する時に三熊神社を割譲したので、現在は日吉山王神社と三熊野神社の二社となっています。

この神社境内全域は県の緑地環境保全地域及び市の天然記念物（日吉山王神社の森）に指定され、大般若経は市の有形文化財（日吉山王神社の大般若経）に指定されています。



拝殿



本殿

↓ 20分

(5) 金刀比羅神社

祭神：大物主命、金山彦命

創立年代不詳 安永7年(1778年)春、南総の村人疫病除けの小太刀（豊年神）を持って村々を巡り、新島村三島（現香取市三島）より香澄村に担ぎ込まれ鎮座した処「讚州金刀比羅大神」と神告あり、参詣人次第に増加し海上安全、豊漁に靈驗著しくこれを聞いて鹿島灘の漁民をはじめ、遠く銚子方面や霞ヶ浦沿岸から群集しました。

当社は霞ヶ浦を一望できる絶景の高地（海拔27m）にあり、霞ヶ浦と関わりが深く周辺の人々に広く信仰の対象でありました。



拝殿

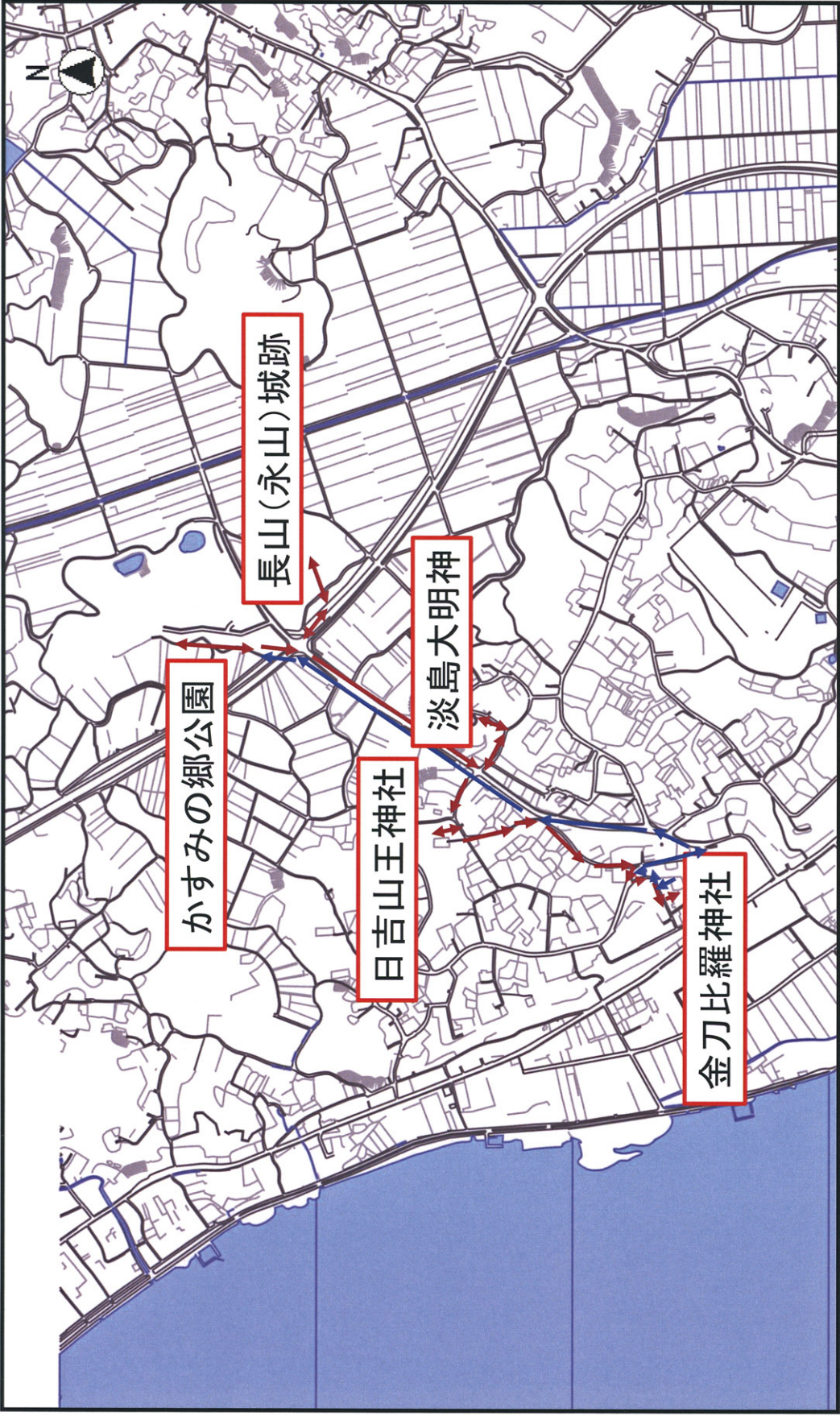


本殿

↓ 45分

(6) かすみの郷公園駐車場

13-3 (61)



縮尺 1 : 10000



13-4(62)

